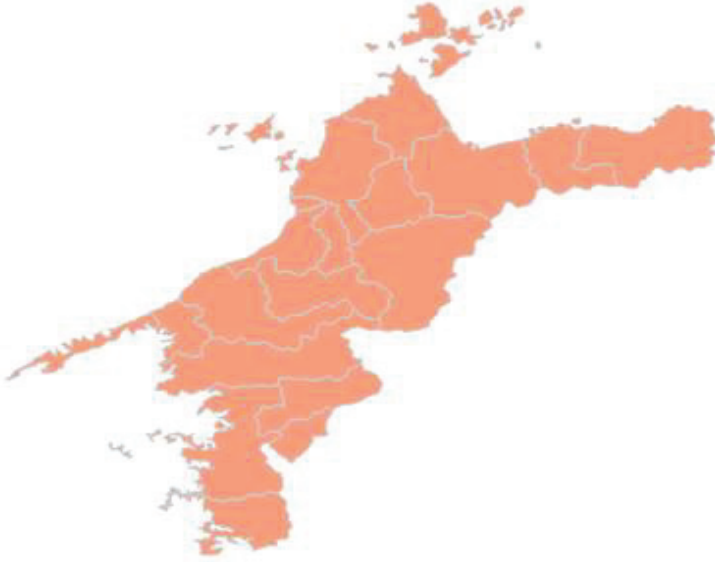


医療機関名	独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター
-------	------------------------

施設基本情報

所在地	松山市南梅本町甲160番
病床数	368床（ICU:4床、緩和ケア:25床、一般:339床）
がん診療連携拠点病院指定日	2002.03.15
データ収集期間	2023.01.01～2023.12.31（2023年診断症例）
平均在院日数	11.3日
入院患者のべ数	103,831人
外来患者のべ数	119,928人
院内がん登録件数	2,338件
院内がん登録件数 上位3部位（症例区分80を除く）	乳房:409件 肺:369件 前立腺:199件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者3名、中級者3名（2024年1月現在）
診療科	呼吸器内科 呼吸器外科 乳腺外科 婦人科 消化器内科 消化器外科 耳鼻いんこう科 泌尿器科 循環器内科 整形外科 血液腫瘍内科 精神腫瘍科 放射線診断科 放射線治療科 麻酔科 形成外科 皮膚科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 緩和ケア内科 病理診断科 感染症・腫瘍内科 【全22科】（2024年1月現在）

	
担当医療圏： 愛媛県下全域	
担当医療圏における患者住所の割合：	
95.1%	
県内担当医療圏外の割合：	
0.0%	
県外患者住所の割合：	
4.9%	

国立病院機構四国がんセンターは各都道府県に一つのみ指定されるがん診療連携拠点病院です。全国がんセンター協議会に参加する 32 施設の一つとしても活動し、愛媛県のがん診療にあたっています。

当院は施設のある中予医療圏だけでなく広く県全域からの患者さんの診療を行うほか、県外からがん専門機関での治験などを希望される患者さんもいらっしゃいます。

2023 年診断症例の集計での当院の特徴としては、以下が挙げられます。

- 1) がん登録件数は 2023 年は 2,243 件で、昨年から 80 件減少、愛媛県下のがん患者さんの約 16%を占めたこと
- 2) がんの部位では乳がん、肺がん、子宮がん、大腸がん、前立腺がんの順に多く、全国や愛媛県と比較して女性の若年層の患者さんが占める割合が高いこと
- 3) 70 歳代の男性・50 歳代の女性が増加傾向であること
- 4) 他院からのがん疑い紹介例や、他施設からがんの診断治療目的で紹介される症例が多いこと
- 5) がん検診や人間ドックなど検診異常で受診される割合が高く、他疾患の経過観察中に見つかる割合は比較的少ない傾向があること

がんの治療法は抗がん剤治療を中心に近年大きく変化してきており、手術分野では内視鏡手術・ロボット支援手術が増加し、手術の低侵襲化が進んでいることがうかがえます。

がんゲノム診断・治療では臓器別の治療法から、がん遺伝子検査結果をふまえた治療法選択へと変わりはじめています。当院はゲノム医療拠点病院に指定を受け、2023 年度からは四国で唯一のがんゲノム医療拠点病院として、県内外のゲノム医療連携施設も参加するエキスパートパネル（がん医療専門家会議）を当院で毎週開催し、その件数は増加してきています。また、原発不明がん診療科、遺伝性がん診断科、ハイリスク検診の外来診療体制を整えており、高度かつ先進の診断・治療の実践と一次治療後の再発などへの支援体制（治験、高度先進医療など）を整備しています。

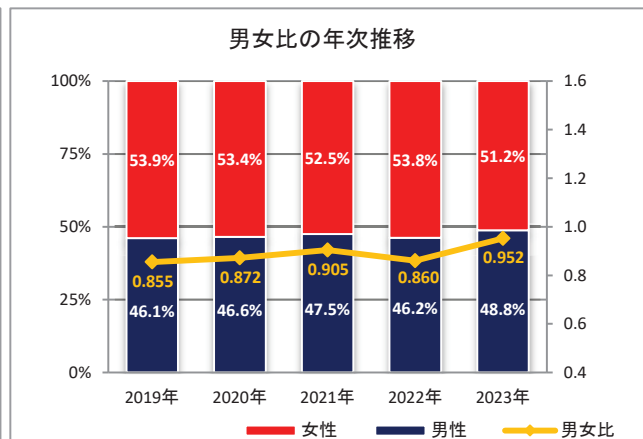
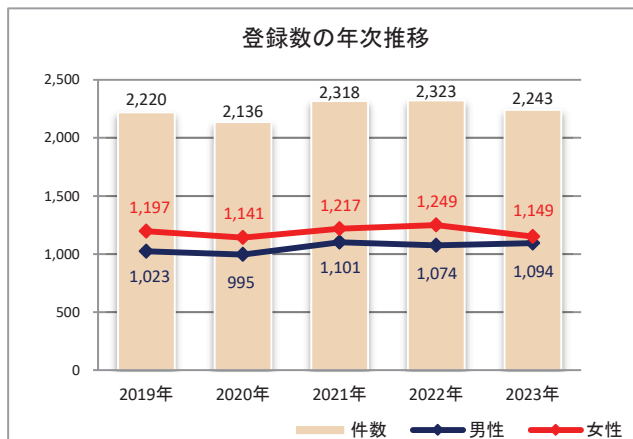
「誰一人として取り残さないがん対策の推進」をスローガンに、地域がん診療連携活動を推進すると共にかかりつけ医や在宅医療とも協力し、がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築を目指しています。

1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
【症例区分8,80を含む】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	2,363		2,207		2,401		2,430		2,338	
男性	1,111	(47.0%)	1,044	(47.3%)	1,147	(47.8%)	1,130	(46.5%)	1,154	(49.4%)
女性	1,252	(53.0%)	1,163	(52.7%)	1,254	(52.2%)	1,300	(53.5%)	1,184	(50.6%)
全体	2,220		2,136		2,318		2,323		2,243	
男性	1,023	(46.1%)	995	(46.6%)	1,101	(47.5%)	1,074	(46.2%)	1,094	(48.8%)
女性	1,197	(53.9%)	1,141	(53.4%)	1,217	(52.5%)	1,249	(53.8%)	1,149	(51.2%)
男女比	0.855		0.872		0.905		0.860		0.952	

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



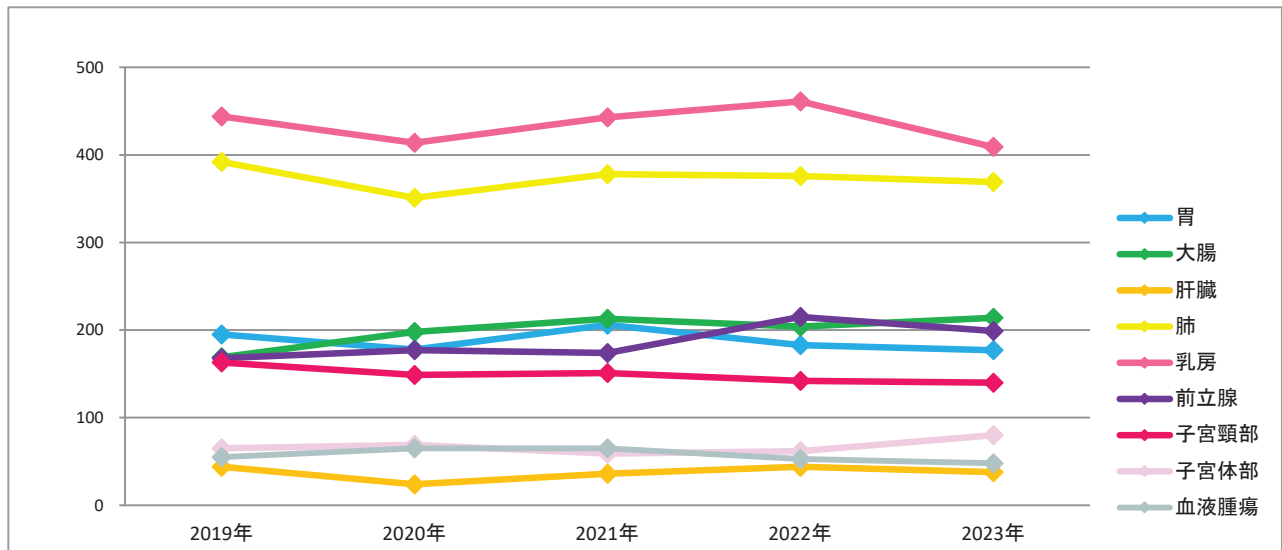
1-2. 登録数の年次推移 (部位別)

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	59	(2.7%)	57	(2.7%)	83	(3.6%)	58	(2.5%)	70	(3.1%)
食道	60	(2.7%)	61	(2.9%)	72	(3.1%)	75	(3.2%)	77	(3.4%)
胃	195	(8.8%)	178	(8.3%)	206	(8.9%)	183	(7.9%)	177	(7.9%)
結腸	96	(4.3%)	121	(5.7%)	127	(5.5%)	112	(4.8%)	126	(5.6%)
直腸	73	(3.3%)	77	(3.6%)	86	(3.7%)	92	(4.0%)	88	(3.9%)
肝臓	44	(2.0%)	24	(1.1%)	36	(1.6%)	44	(1.9%)	38	(1.7%)
胆嚢・胆管	22	(1.0%)	24	(1.1%)	25	(1.1%)	31	(1.3%)	34	(1.5%)
膵臓	82	(3.7%)	83	(3.9%)	86	(3.7%)	87	(3.7%)	80	(3.6%)
喉頭	(7~9)	—	13	(0.6%)	14	(0.6%)	(7~9)	—	13	(0.6%)
肺	392	(17.7%)	351	(16.4%)	378	(16.3%)	376	(16.2%)	369	(16.5%)
骨・軟部	13	(0.6%)	19	(0.9%)	19	(0.8%)	11	(0.5%)	13	(0.6%)
皮膚(黒色腫を含む)	27	(1.2%)	24	(1.1%)	22	(0.9%)	34	(1.5%)	13	(0.6%)
乳房	444	(20.0%)	414	(19.4%)	443	(19.1%)	461	(19.8%)	409	(18.2%)
子宮頸部	163	(7.3%)	149	(7.0%)	151	(6.5%)	142	(6.1%)	140	(6.2%)
子宮体部	65	(2.9%)	69	(3.2%)	59	(2.5%)	62	(2.7%)	80	(3.6%)
子宮	0	—	0	—	(1~3)	—	0	—	0	—
卵巣	33	(1.5%)	32	(1.5%)	34	(1.5%)	40	(1.7%)	43	(1.9%)
前立腺	168	(7.6%)	177	(8.3%)	174	(7.5%)	215	(9.3%)	199	(8.9%)
膀胱	60	(2.7%)	49	(2.3%)	76	(3.3%)	57	(2.5%)	62	(2.8%)
腎・他の尿路	50	(2.3%)	47	(2.2%)	49	(2.1%)	44	(1.9%)	49	(2.2%)
脳・中枢神経系	(1~3)	—	(1~3)	—	(4~6)	—	(1~3)	—	13	(0.6%)
甲状腺	37	(1.7%)	40	(1.9%)	34	(1.5%)	43	(1.9%)	30	(1.3%)
悪性リンパ腫	37	(1.7%)	47	(2.2%)	48	(2.1%)	37	(1.6%)	39	(1.7%)
多発性骨髄腫	(7~9)	—	(7~9)	—	(4~6)	—	10	(0.4%)	(4~6)	—
白血病	(4~6)	—	(7~9)	—	(7~9)	—	(4~6)	—	(1~3)	—
他の造血器腫瘍	(4~6)	—	(4~6)	—	(4~6)	—	(1~3)	—	(4~6)	—
その他	72	(3.2%)	61	(2.9%)	74	(3.2%)	92	(4.0%)	72	(3.2%)
合計	2,220		2,136		2,318		2,323		2,243	

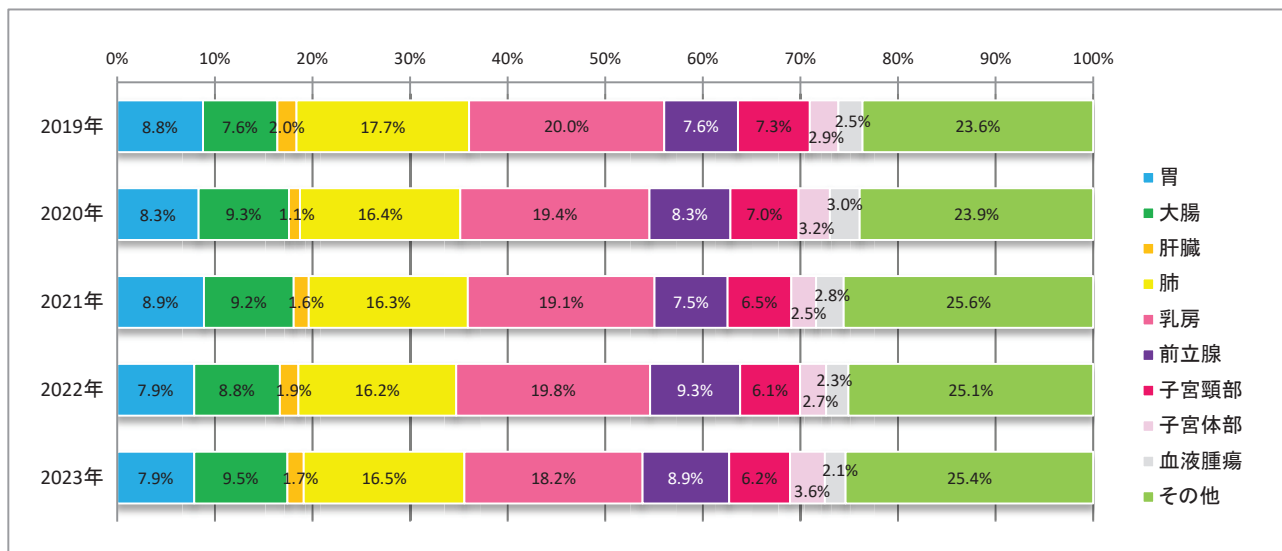
*説明ポイント① 登録数は前年より80件減少し、男女比に変動があった。

*説明ポイント② 部位別登録数では乳房が最多で、全国・愛媛県の登録割合より高い。

1-3. 部位別登録数の推移

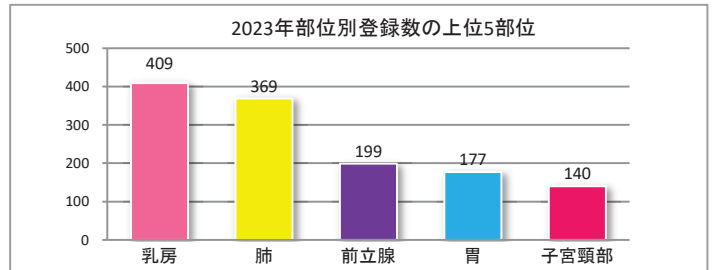


1-4. 登録数の部位別の割合



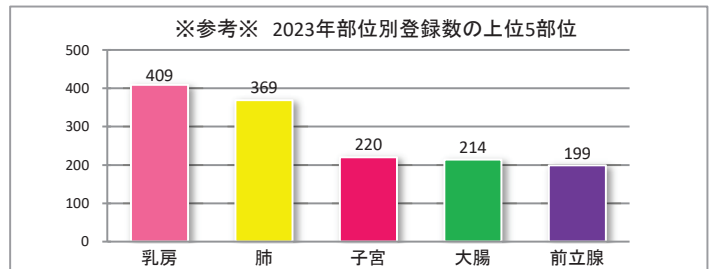
1-5. 部位別登録数の上位5部位

順位	2022年		2023年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	乳房	461	乳房	409
2	肺	376	肺	369
3	前立腺	215	前立腺	199
4	胃	183	胃	177
5	子宮頸部	142	子宮頸部	140



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

順位	2022年		2023年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	乳房	461	乳房	409
2	肺	376	肺	369
3	前立腺	215	子宮	220
4	子宮	204	大腸	214
5	大腸	204	前立腺	199

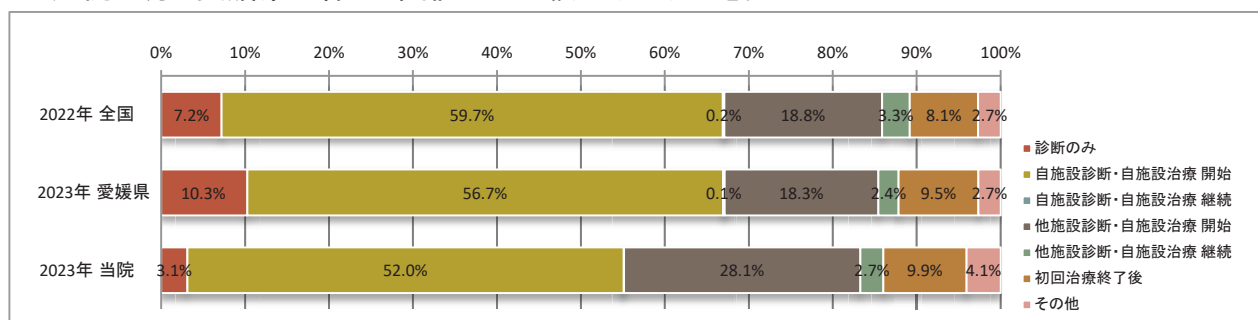


2. 症例区分

2-1. 症例区分(症例区分80を含む)

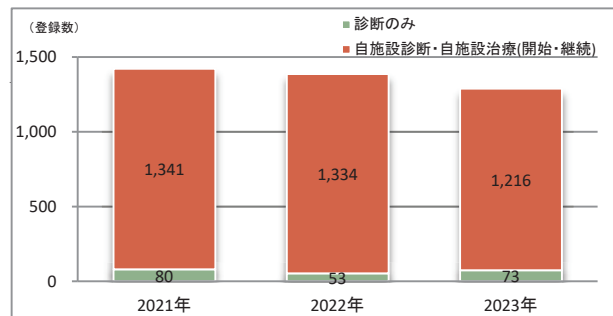
診断年	2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	80	(3.3%)	53	(2.2%)	73	(3.1%)
自施設診断・自施設治療 開始	1,340	(55.8%)	1,333	(54.9%)	1,215	(52.0%)
自施設診断・自施設治療 継続	(1～3)	—	(1～3)	—	(1～3)	—
他施設診断・自施設治療 開始	668	(27.8%)	659	(27.1%)	658	(28.1%)
他施設診断・自施設治療 継続	42	(1.7%)	53	(2.2%)	64	(2.7%)
初回治療終了後	187	(7.8%)	224	(9.2%)	232	(9.9%)
その他	83	(3.5%)	107	(4.4%)	95	(4.1%)

2-2. 症例区分 愛媛県全体・全国値との比較(症例区分80を含む)



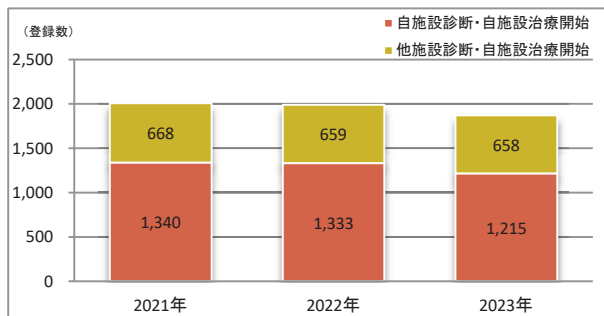
2-3. 自施設でがん診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



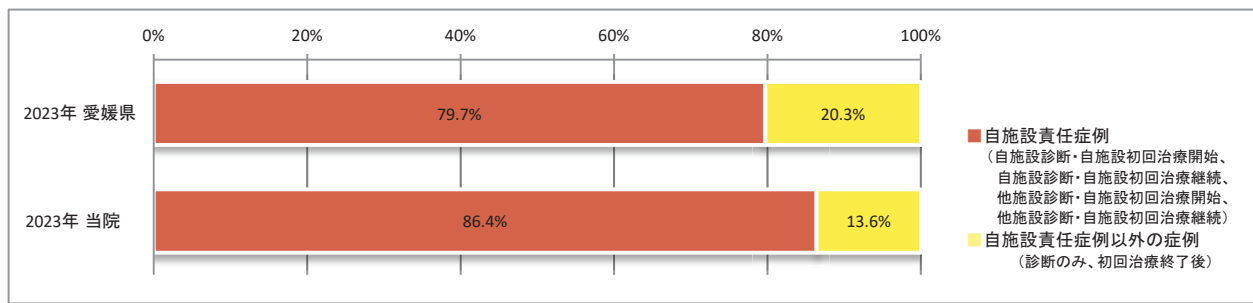
2-5. 2023年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス(症例区分80を含む)

診断施設 治療施設	自施設診断 (当該腫瘍について「がん」と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)	他施設診断 (当該腫瘍について「がん」と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例)
	自施設で初回治療せず	自施設で初回治療開始
自施設で初回治療せず	<診断のみ> 73	<その他> 75
自施設で初回治療開始	<自施設診断・自施設治療開始> 1,215	<他施設診断・自施設治療開始> 658
初回治療継続	<自施設診断・自施設治療継続> (1～3)	<他施設診断・自施設治療継続> 64
初回治療終了後	<初回治療終了後> 0	<初回治療終了後、その他> 251
その他	<その他> 0	<その他> (1～3)

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

*説明ポイント③ 症例区分の「他施設診断・自施設治療開始」が全国・愛媛県より割合が高い。

2-6. 自施設責任症例の割合の比較

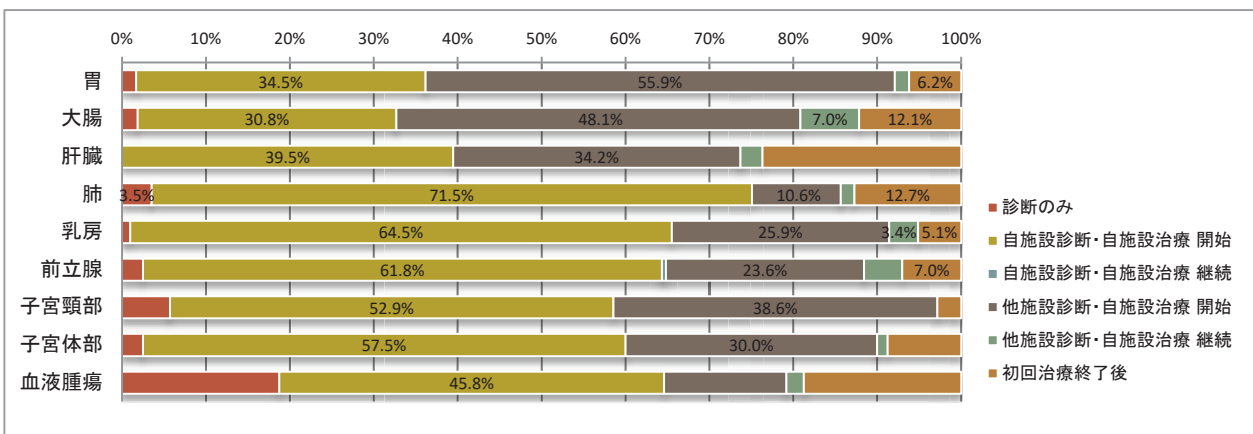


2-7. 症例区分 部位別

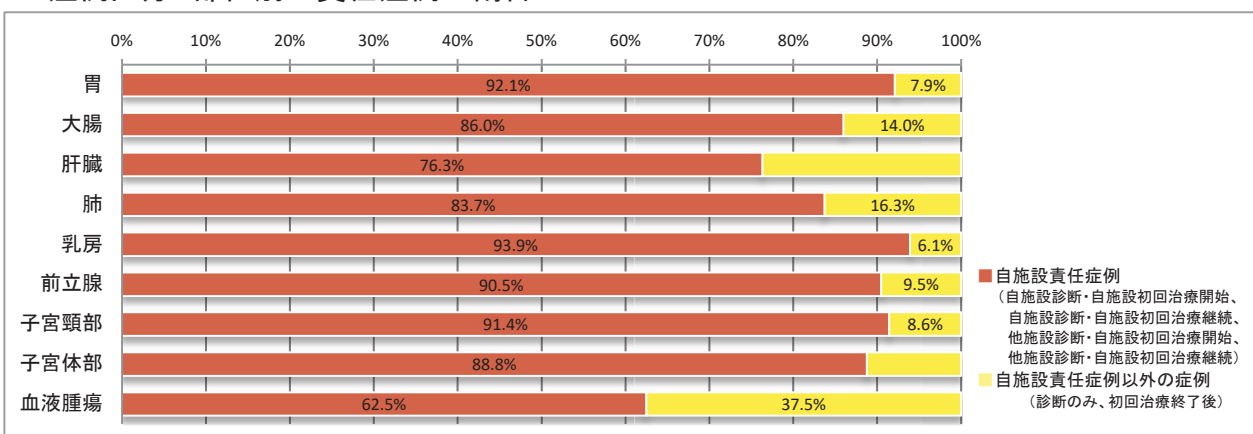
	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(1~3)	--	(4~6)	--	0	--	13	(3.5%)	(4~6)	--
自施設診断・自施設治療 開始	61	(34.5%)	66	(30.8%)	15	(39.5%)	264	(71.5%)	264	(64.5%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
他施設診断・自施設治療 開始	99	(55.9%)	103	(48.1%)	13	(34.2%)	39	(10.6%)	106	(25.9%)
他施設診断・自施設治療 継続	(1~3)	--	15	(7.0%)	(1~3)	--	(4~6)	--	14	(3.4%)
初回治療終了後	11	(6.2%)	26	(12.1%)	(7~9)	--	47	(12.7%)	21	(5.1%)

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(4~6)	--	(7~9)	--	(1~3)	--	(7~9)	--
自施設診断・自施設治療 開始	123	(61.8%)	74	(52.9%)	46	(57.5%)	22	(45.8%)
自施設診断・自施設治療 継続	(1~3)	--	0	--	0	--	0	--
他施設診断・自施設治療 開始	47	(23.6%)	54	(38.6%)	24	(30.0%)	(7~9)	--
他施設診断・自施設治療 継続	(7~9)	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--
初回治療終了後	14	(7.0%)	(4~6)	--	(7~9)	--	(7~9)	--

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

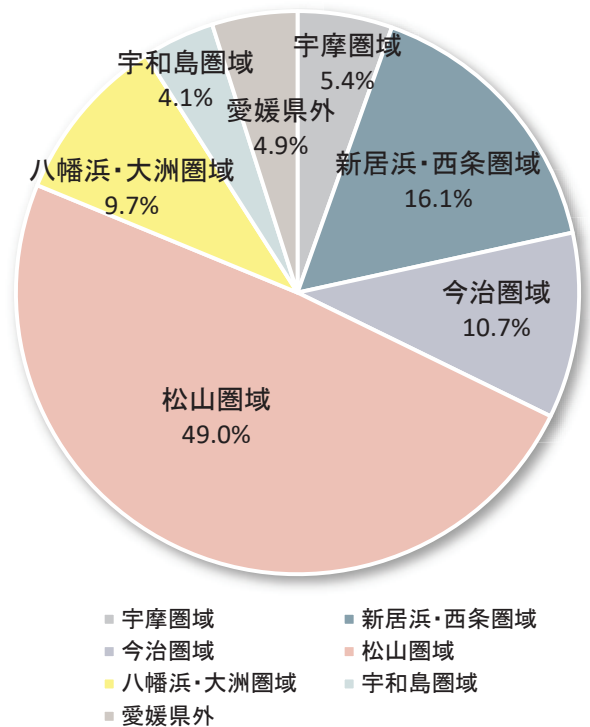
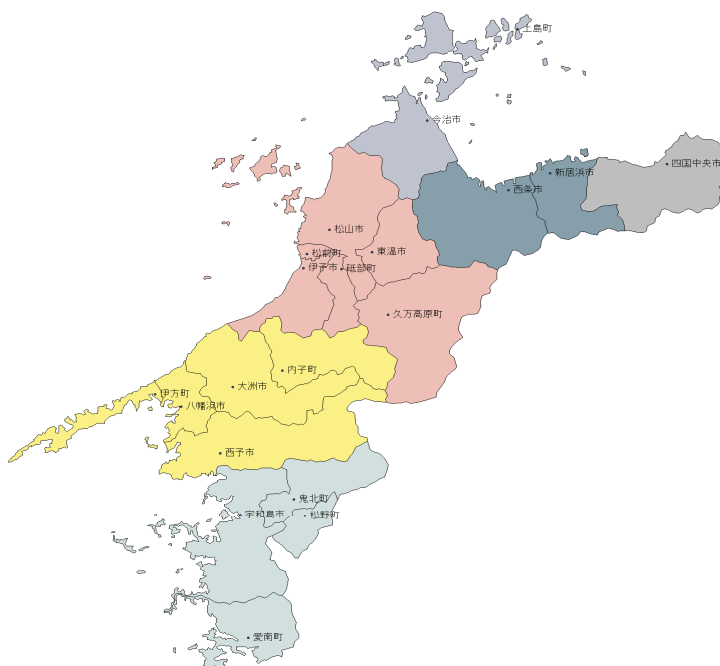
3-1. 診断時住所別

医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	町村	登録数 件数
宇摩圏域	122	(5.4%)	四国中央市		122
新居浜・西条圏域	362	(16.1%)	新居浜市 西条市		192 170
今治圏域	239	(10.7%)	今治市 越智郡	(上島町)	239 0
松山圏域	1,099	(49.0%)	松山市 伊予市 東温市 上浮穴郡 伊予郡	(久万高原町) (松前町、砥部町)	813 69 121 (1~3) 93
八幡浜・大洲圏域	218	(9.7%)	八幡浜市 大洲市 西予市 喜多郡 西宇和郡	(内子町) (伊方町)	60 78 35 30 15
宇和島圏域	93	(4.1%)	宇和島市 北宇和郡 南宇和郡	(松野町、鬼北町) (愛南町)	59 13 21
愛媛県外	110	(4.9%)	高知県 香川県 徳島県 その他		51 37 (7~9) 14
合計(全登録数)					2,243

担当医療圏

全登録数に占める担当
医療圏の登録数割合
(担当医療圏登録数/全登録数)

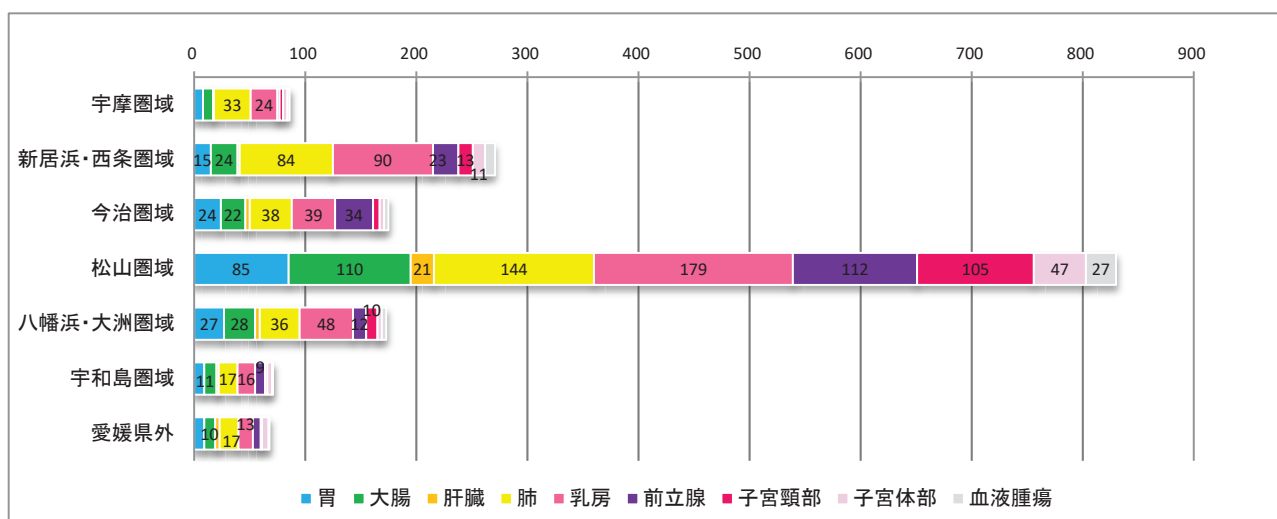
95.1%



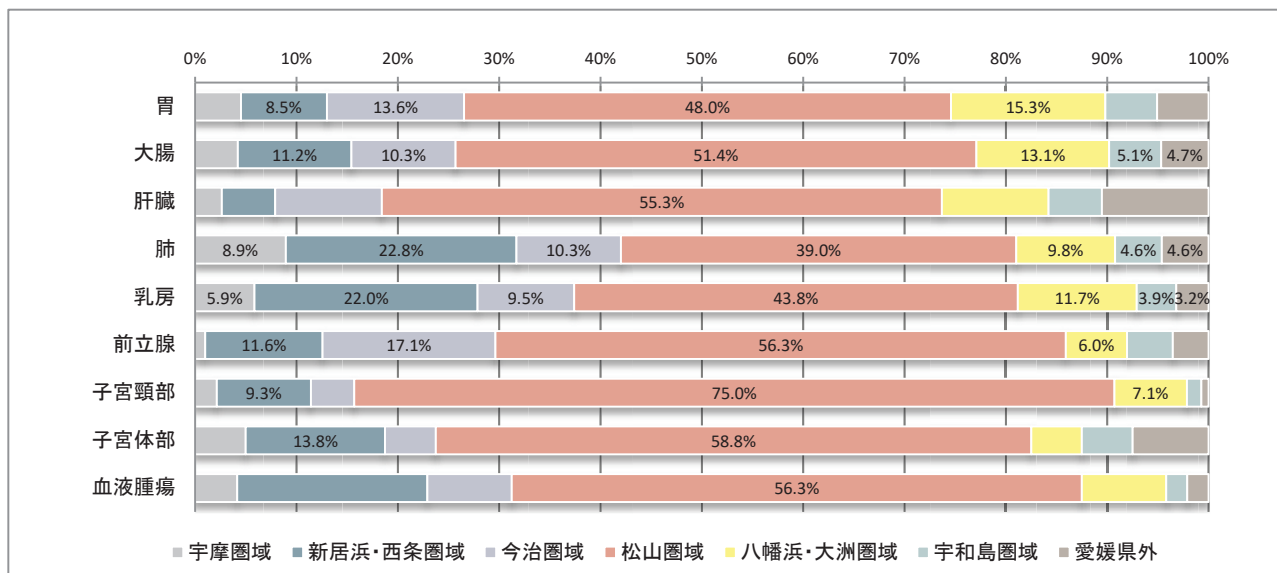
*説明ポイント④ 医療圏域別登録数は、松山圏域以外が半数以上を占めている。

3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

医療圏	胃 件数	大腸 件数	肝臓 件数	肺 件数	乳房 件数	前立腺 件数	子宮頸部 件数	子宮体部 件数	血液腫瘍 件数
宇摩圏域	(7~9)	(7~9)	(1~3)	33	24	(1~3)	(1~3)	(4~6)	(1~3)
新居浜・西条圏域	15	24	(1~3)	84	90	23	13	11	(7~9)
今治圏域	24	22	(4~6)	38	39	34	(4~6)	(4~6)	(4~6)
松山圏域	85	110	21	144	179	112	105	47	27
八幡浜・大洲圏域	27	28	(4~6)	36	48	12	10	(4~6)	(4~6)
宇和島圏域	(7~9)	11	(1~3)	17	16	(7~9)	(1~3)	(4~6)	(1~3)
愛媛県外	(7~9)	10	(4~6)	17	13	(7~9)	(1~3)	(4~6)	(1~3)
部位別 合 計	177	214	38	369	409	199	140	80	48
部位別の登録数に占める 担当医療圏の登録割合 (担当医療圏登録数/登録数)	94.9%	95.3%	89.5%	95.4%	96.8%	96.5%	99.3%	92.5%	97.9%



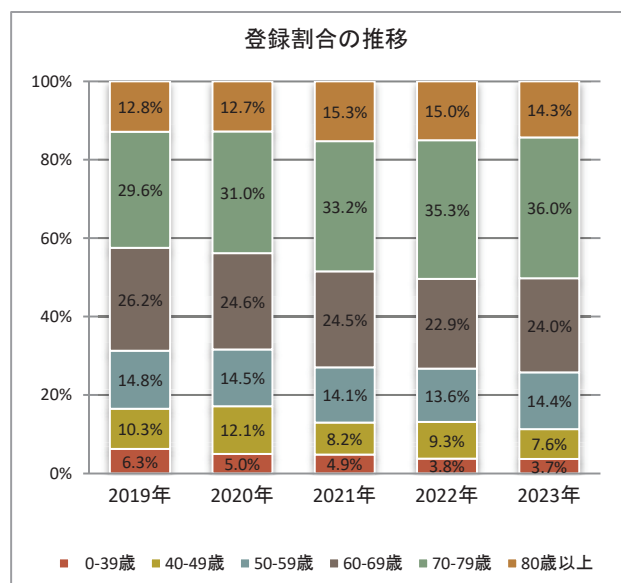
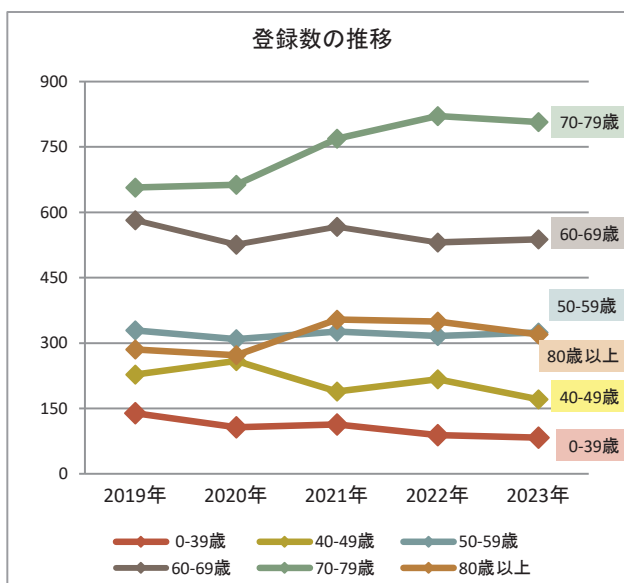
3-3. 部位別医療圏域別の登録割合



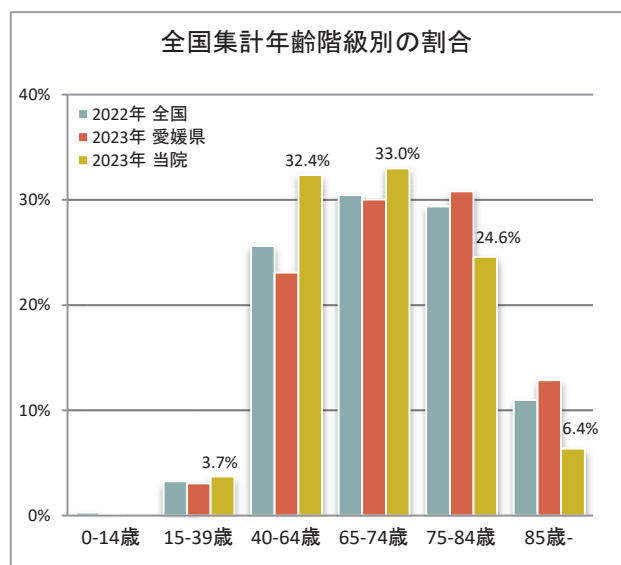
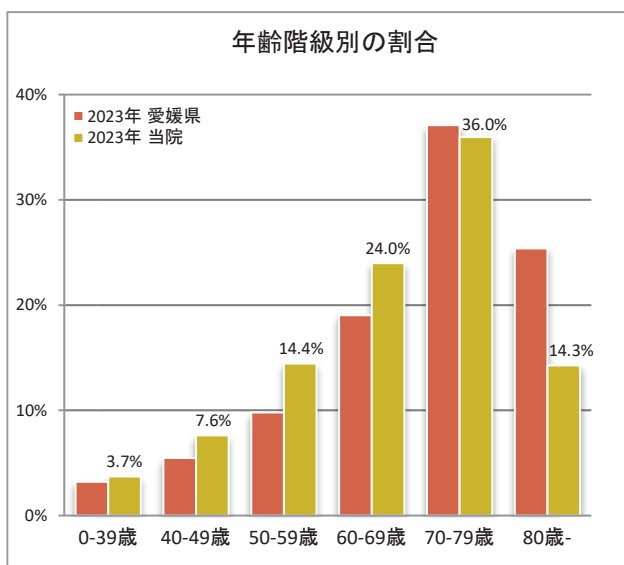
4. 年齢の割合

4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	139	(6.3%)	107	(5.0%)	113	(4.9%)	89	(3.8%)	83	(3.7%)
40-49歳	228	(10.3%)	259	(12.1%)	189	(8.2%)	217	(9.3%)	171	(7.6%)
50-59歳	329	(14.8%)	309	(14.5%)	326	(14.1%)	316	(13.6%)	324	(14.4%)
60-69歳	582	(26.2%)	526	(24.6%)	567	(24.5%)	531	(22.9%)	538	(24.0%)
70-79歳	657	(29.6%)	663	(31.0%)	769	(33.2%)	821	(35.3%)	807	(36.0%)
80歳-	285	(12.8%)	272	(12.7%)	354	(15.3%)	349	(15.0%)	320	(14.3%)



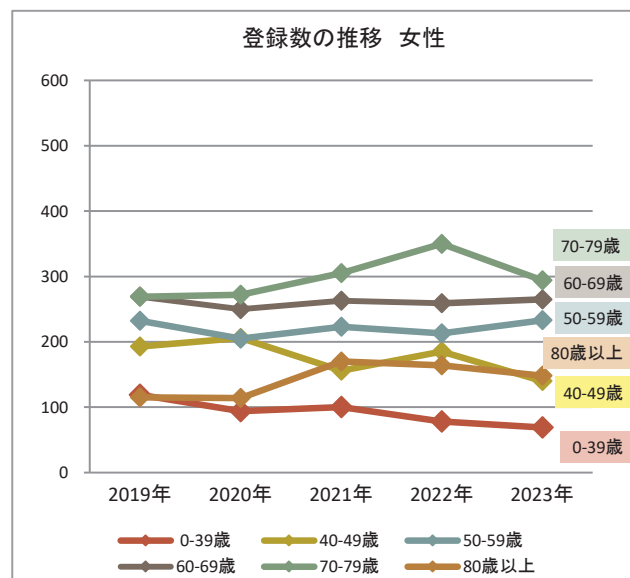
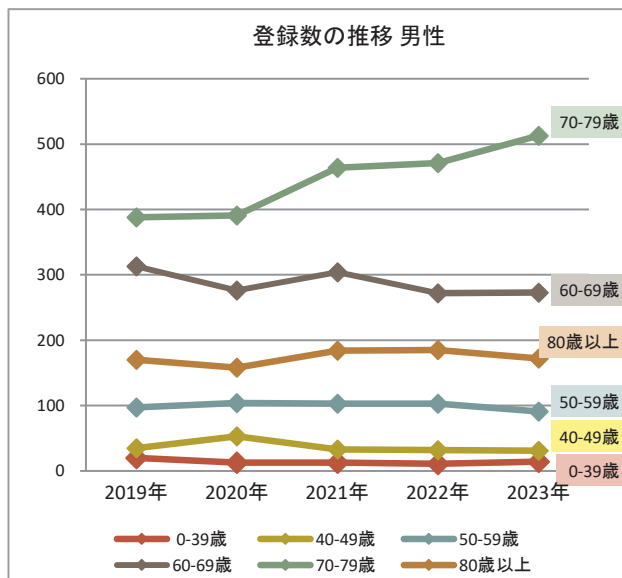
4-2. 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較



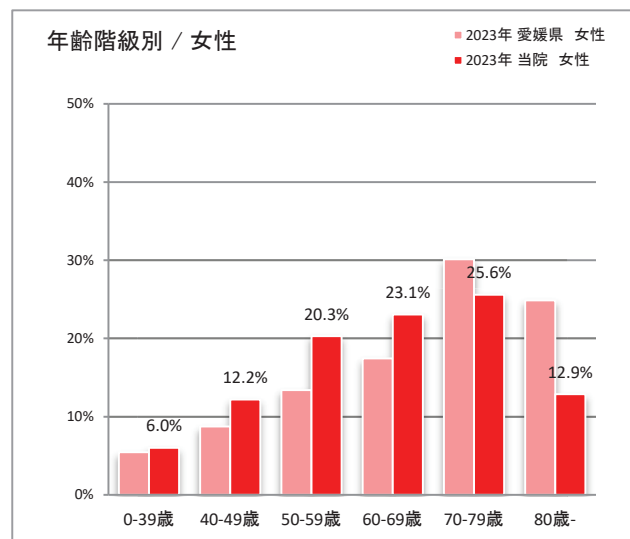
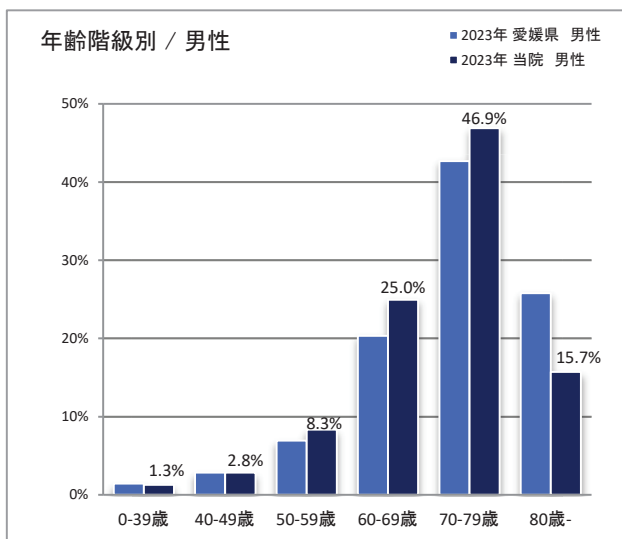
*説明ポイント⑤ 年齢階級別登録数の年次推移では、70歳代の男性が増加した。

4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	20	(2.0%)	13	(1.3%)	13	(1.2%)	11	(1.0%)	14	(1.3%)
40-49歳	35	(3.4%)	53	(5.3%)	33	(3.0%)	32	(3.0%)	31	(2.8%)
50-59歳	97	(9.5%)	104	(10.5%)	103	(9.4%)	103	(9.6%)	91	(8.3%)
60-69歳	313	(30.6%)	276	(27.7%)	304	(27.6%)	272	(25.3%)	273	(25.0%)
70-79歳	388	(37.9%)	391	(39.3%)	464	(42.1%)	471	(43.9%)	513	(46.9%)
80歳-	170	(16.6%)	158	(15.9%)	184	(16.7%)	185	(17.2%)	172	(15.7%)
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	119	(9.9%)	94	(8.2%)	100	(8.2%)	78	(6.2%)	69	(6.0%)
40-49歳	193	(16.1%)	206	(18.1%)	156	(12.8%)	185	(14.8%)	140	(12.2%)
50-59歳	232	(19.4%)	205	(18.0%)	223	(18.3%)	213	(17.1%)	233	(20.3%)
60-69歳	269	(22.5%)	250	(21.9%)	263	(21.6%)	259	(20.7%)	265	(23.1%)
70-79歳	269	(22.5%)	272	(23.8%)	305	(25.1%)	350	(28.0%)	294	(25.6%)
80歳-	115	(9.6%)	114	(10.0%)	170	(14.0%)	164	(13.1%)	148	(12.9%)



4-4. 男女別 年齢階級別登録割合 愛媛県全体との比較

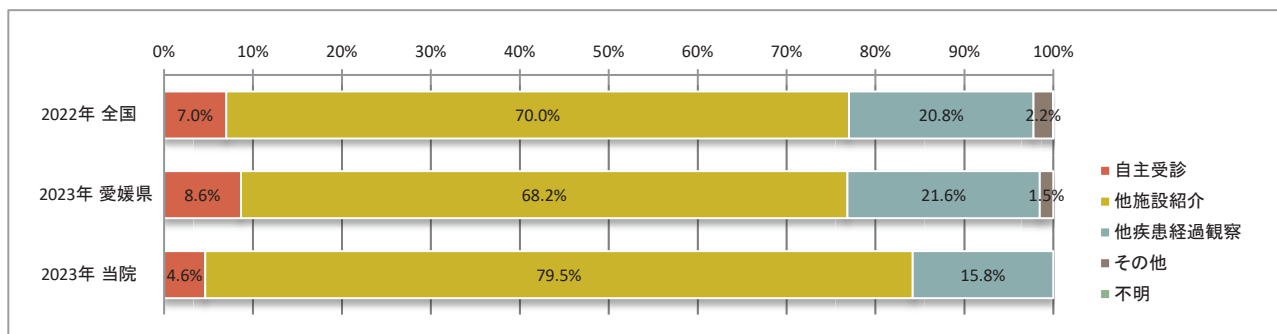


5. 来院経路

5-1. 来院経路

診断年	2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	105	(4.5%)	124	(5.3%)	104	(4.6%)
他施設紹介	1,789	(77.2%)	1,800	(77.5%)	1,784	(79.5%)
他疾患経過観察	424	(18.3%)	399	(17.2%)	355	(15.8%)
その他	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--

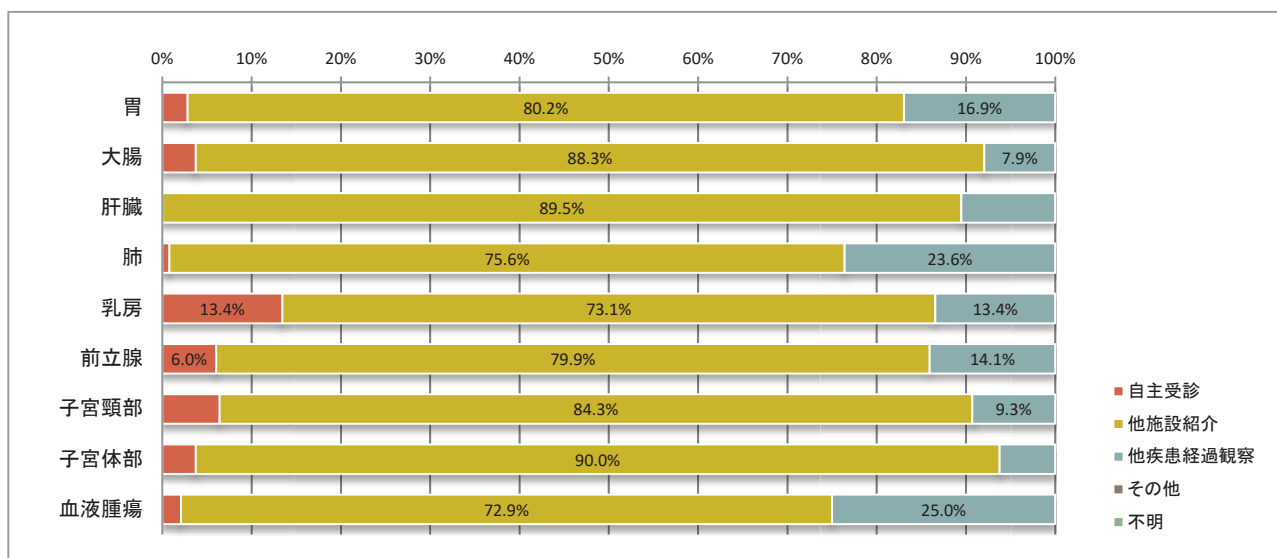
5-2. 来院経路 愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	(4~6)	--	(7~9)	--	0	--	(1~3)	--	55	(13.4%)
他施設紹介	142	(80.2%)	189	(88.3%)	34	(89.5%)	279	(75.6%)	299	(73.1%)
他疾患経過観察	30	(16.9%)	17	(7.9%)	(4~6)	--	87	(23.6%)	55	(13.4%)
その他	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	12	(6.0%)	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他施設紹介	159	(79.9%)	118	(84.3%)	72	(90.0%)	35	(72.9%)
他疾患経過観察	28	(14.1%)	13	(9.3%)	(4~6)	--	12	(25.0%)
その他	0	--	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--

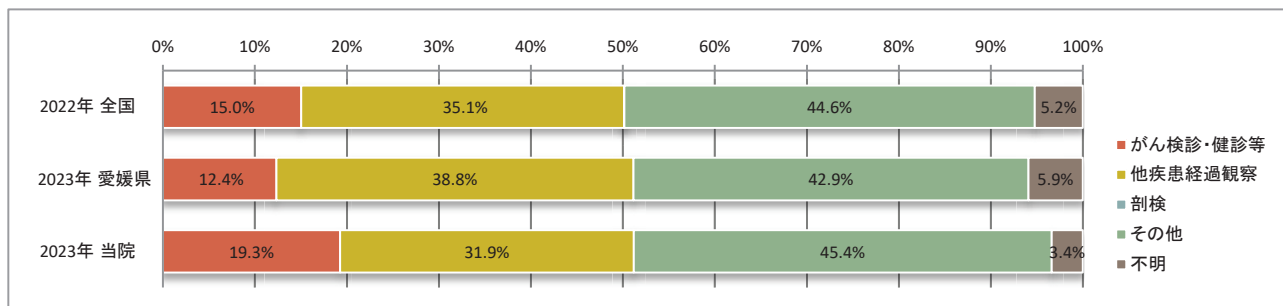


6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

診断年	2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	404	(17.4%)	447	(19.2%)	432	(19.3%)
他疾患経過観察	777	(33.5%)	750	(32.3%)	716	(31.9%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--
その他	1,062	(45.8%)	1,033	(44.5%)	1,019	(45.4%)
不明	75	(3.2%)	93	(4.0%)	76	(3.4%)

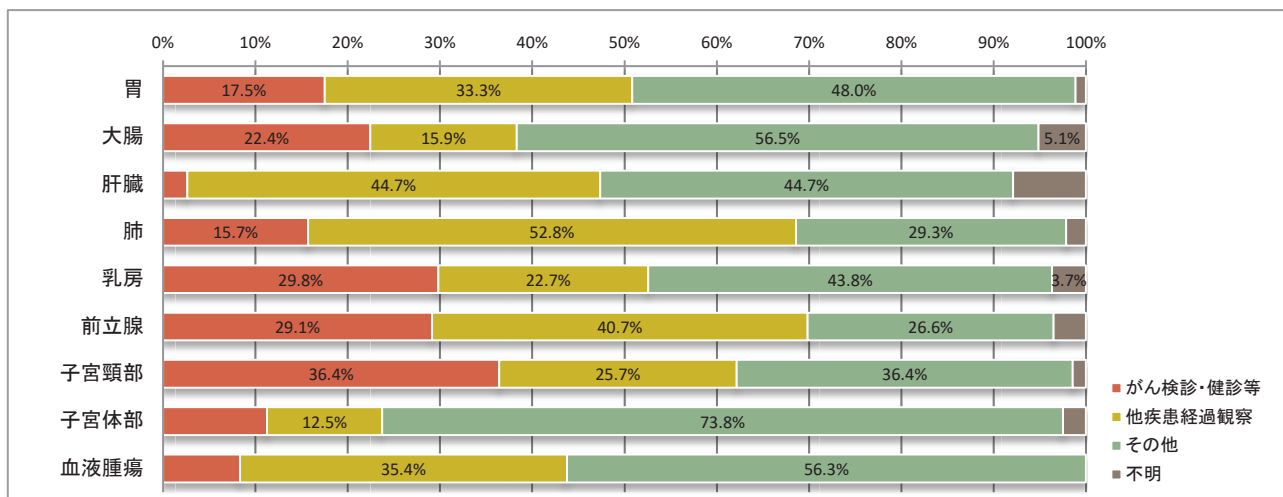
6-2. 発見経緯 愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	31	(17.5%)	48	(22.4%)	(1~3)	--	58	(15.7%)	122	(29.8%)
他疾患経過観察	59	(33.3%)	34	(15.9%)	17	(44.7%)	195	(52.8%)	93	(22.7%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	85	(48.0%)	121	(56.5%)	17	(44.7%)	108	(29.3%)	179	(43.8%)
不明	(1~3)	--	11	(5.1%)	(1~3)	--	(7~9)	--	15	(3.7%)

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	58	(29.1%)	51	(36.4%)	(7~9)	--	(4~6)	--
他疾患経過観察	81	(40.7%)	36	(25.7%)	10	(12.5%)	17	(35.4%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	53	(26.6%)	51	(36.4%)	59	(73.8%)	27	(56.3%)
不明	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	0	--

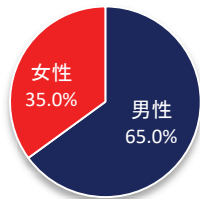


*説明ポイント⑥ 発見経緯の「がん検診・健診等」の割合が高く、前年より大腸の件数が増加した。

7-1. 部位別：胃

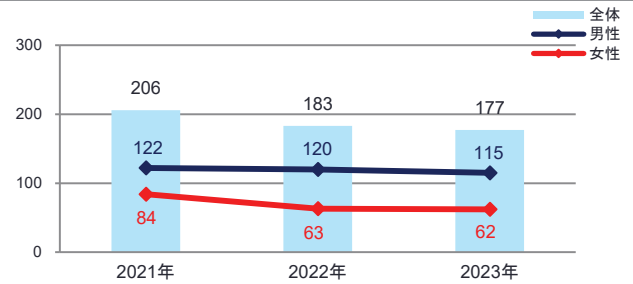
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	177
男性	115
女性	62

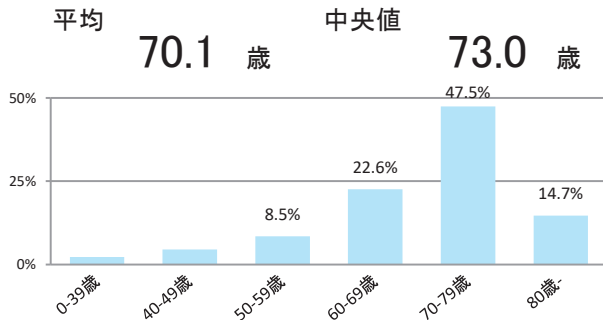


当院全登録数に占める胃がんの割合 **7.9%**

2. 登録数の年次推移

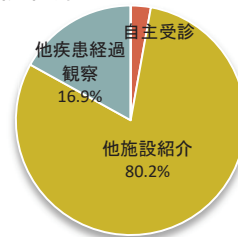


3. 年齢

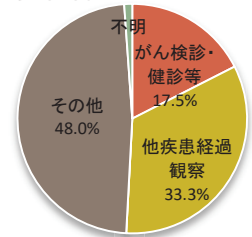


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

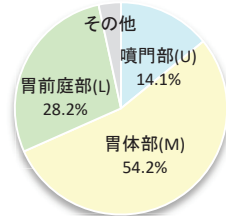


発見経緯

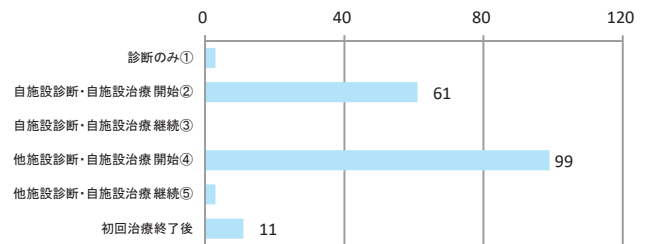


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	13	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	12	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	96	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	50	C16.9	胃NOS	(4~6)
C16.4	幽門	0			



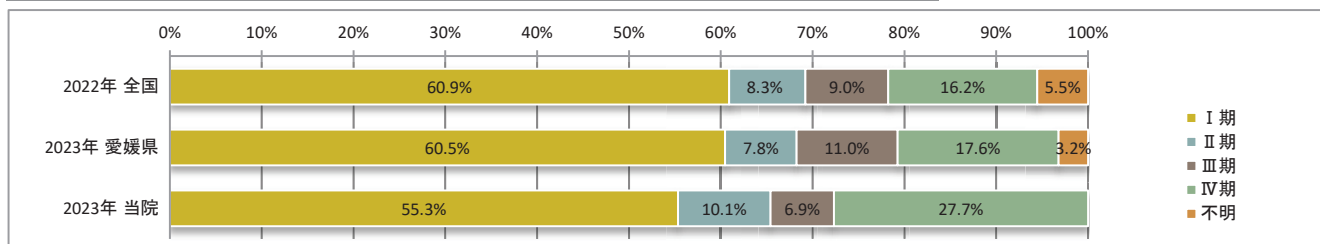
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	163	92.1%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	64	36.2%

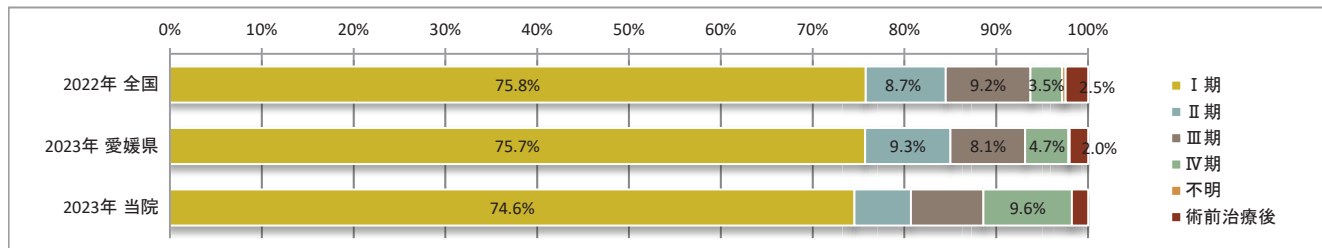
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		88	16	11	44	0	159
割合		55.3%	10.1%	6.9%	27.7%	—	



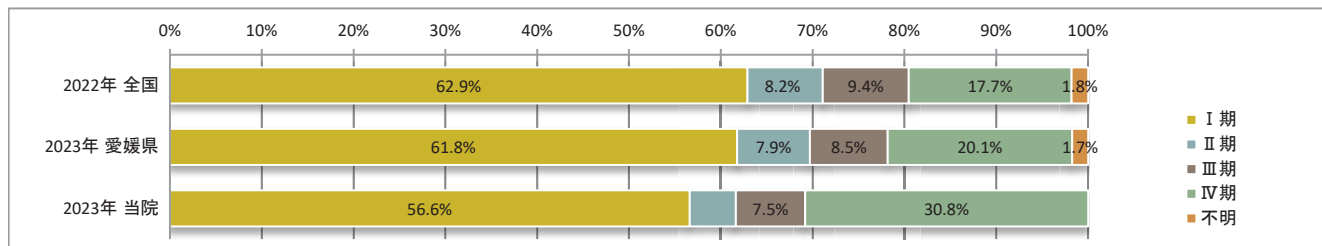
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数		85	(7~9)	(7~9)	11	0	(1~3)
割合		74.6%	—	—	9.6%	—	—
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0	114
割合	—	—	—	—	—	—	



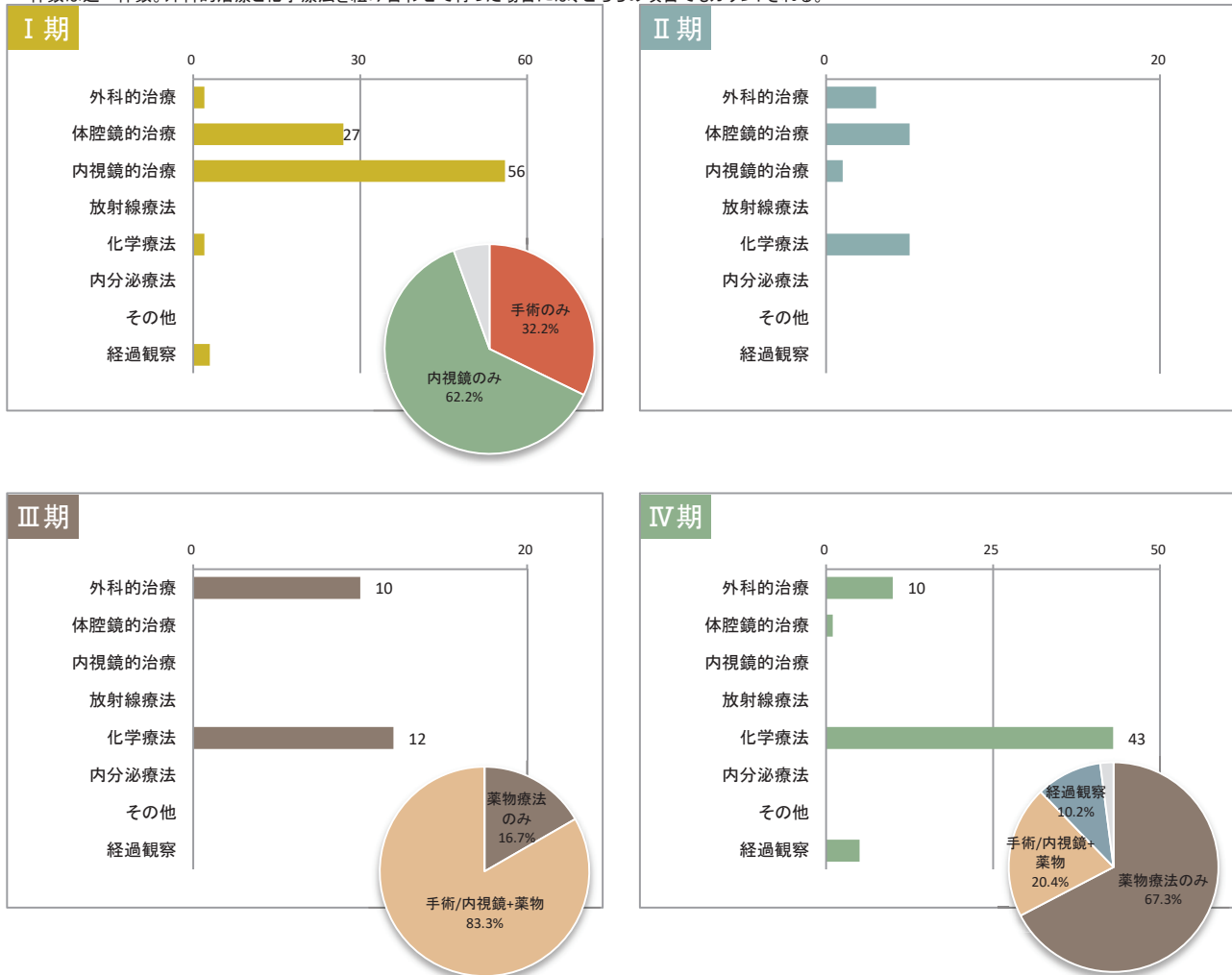
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		90	(7~9)	12	49	0	159
割合		56.6%	—	7.5%	30.8%	—	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

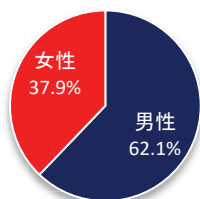
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-2. 部位別:大腸

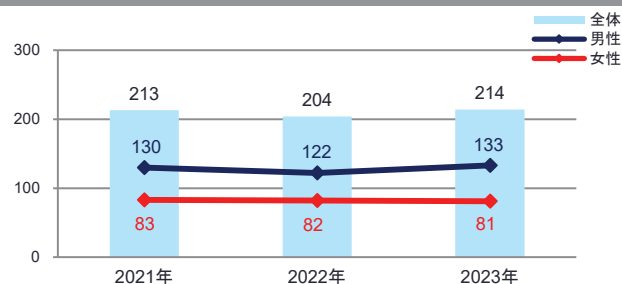
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	214
男性	133
女性	81

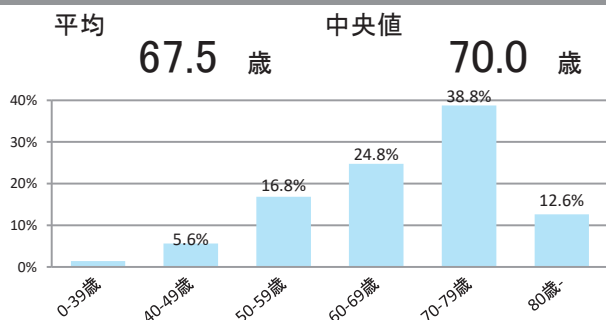


当院全登録数に占める大腸がんの割合 **9.5%**

2. 登録数の年次推移

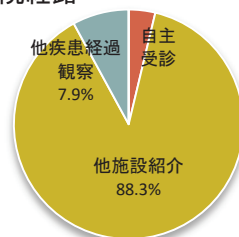


3. 年齢

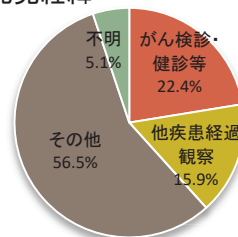


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

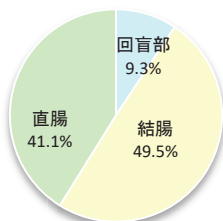


発見経緯

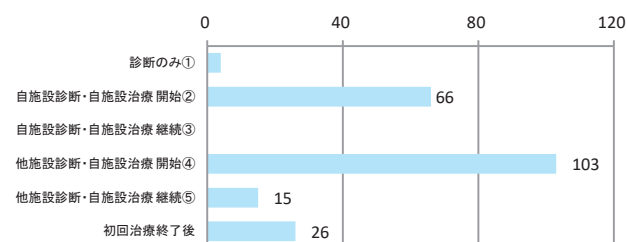


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	11	C19.9	直腸S状結腸	24
C18.1	虫垂	(7~9)	C20.9	直腸	64
C18.2	上行結腸	27			
C18.3	右結腸曲	0			
C18.4	横行結腸	15			
C18.5	左結腸曲	(1~3)			
C18.6	下行結腸	10			
C18.7	S状結腸	52			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	詳細部位不明	(1~3)			



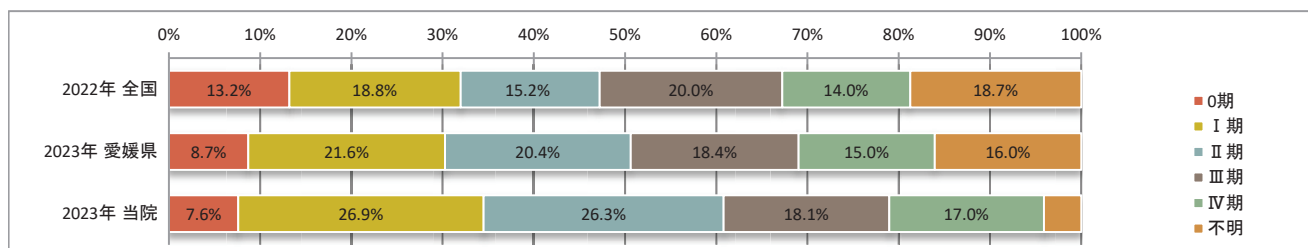
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	184	86.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	70	32.7%

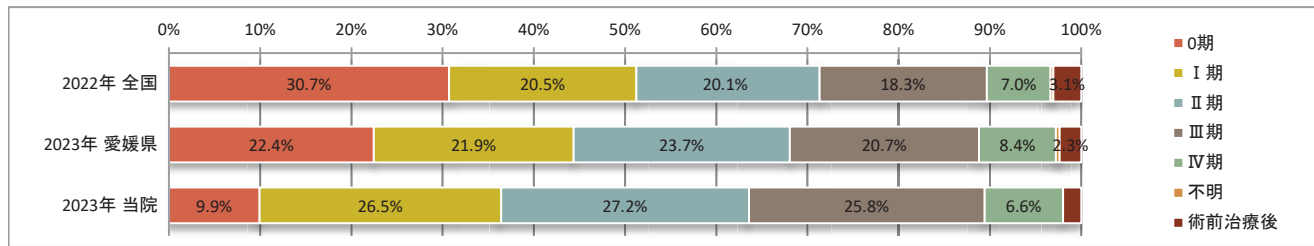
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	13	46	45	31	29	(7~9)	171
割合	7.6%	26.9%	26.3%	18.1%	17.0%	--	



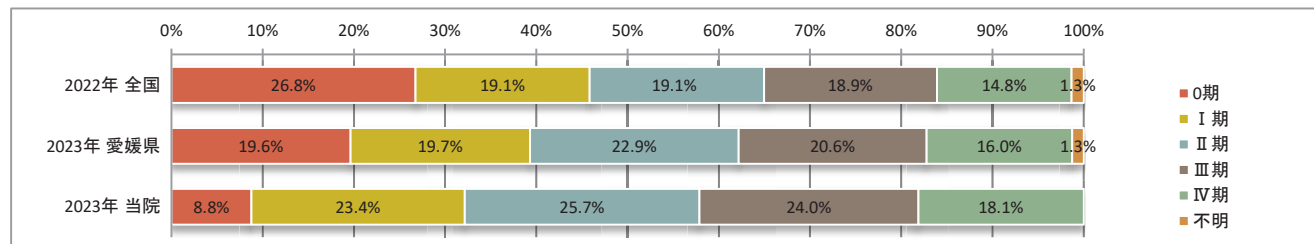
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	15	40	41	38	10	0	(1~3)
割合	9.9%	26.5%	27.2%	25.2%	6.6%	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	(1~3)	(1~3)	0	151
割合	--	--	--	--	--	--	



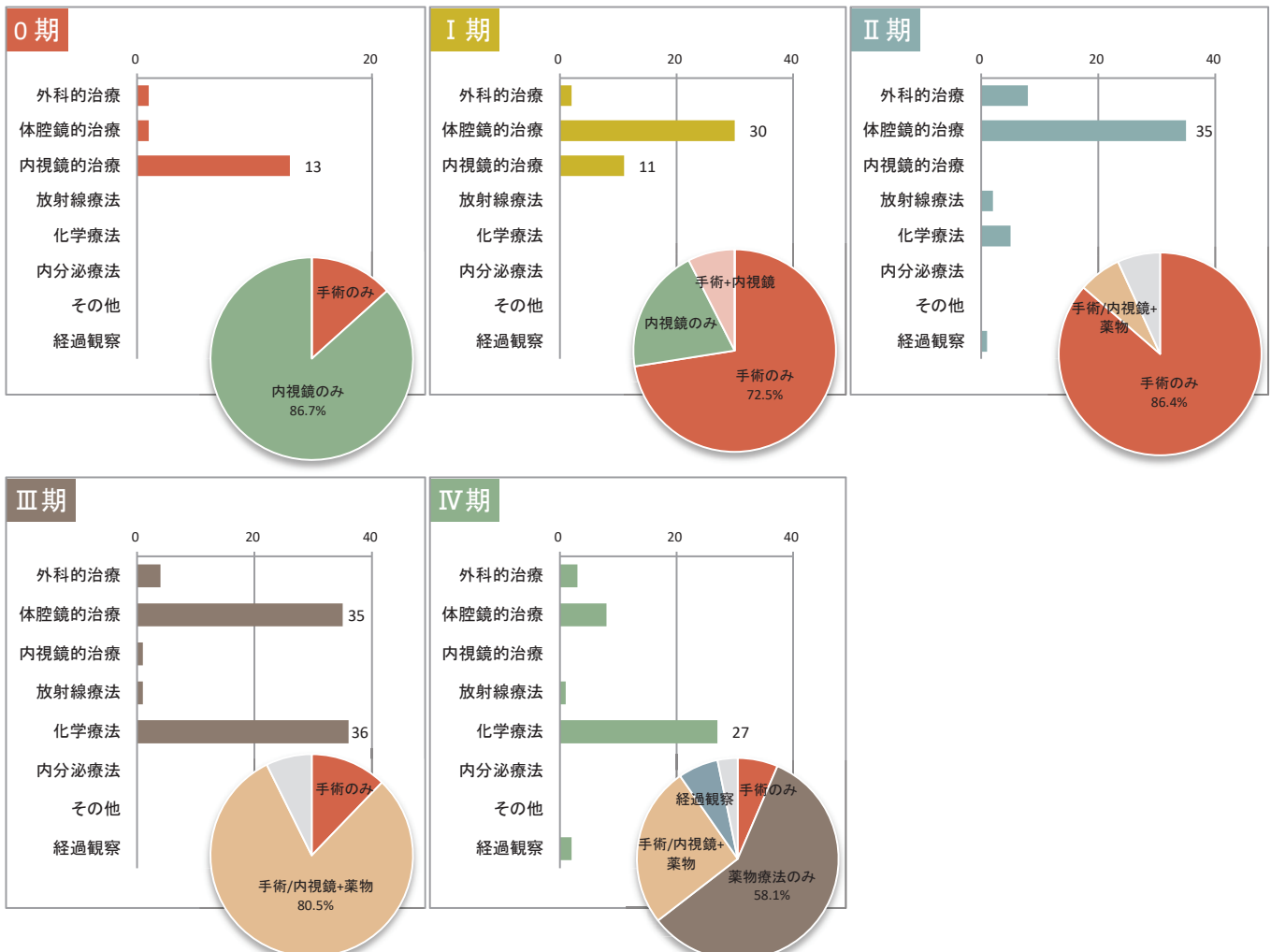
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	15	40	44	41	31	0	171
割合	8.8%	23.4%	25.7%	24.0%	18.1%	—	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

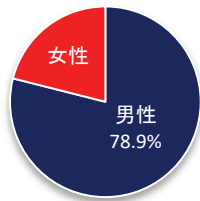
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-3. 部位別：肝臓

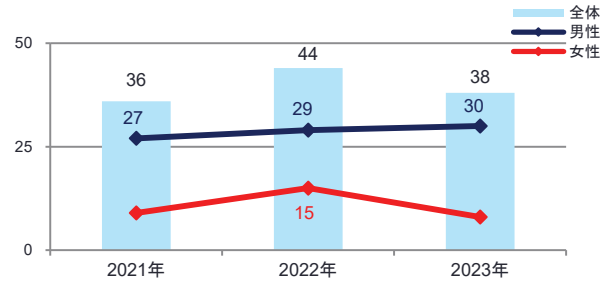
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	38
男性	30
女性	(7~9)

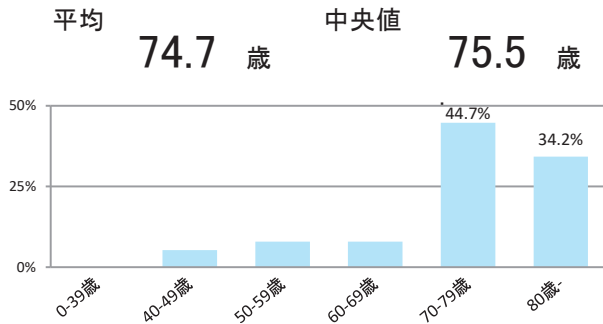


当院全登録数に占める肝臓がんの割合 **1.7%**

2. 登録数の年次推移

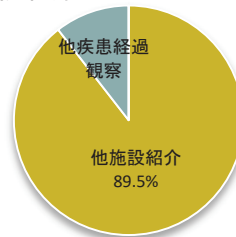


3. 年齢

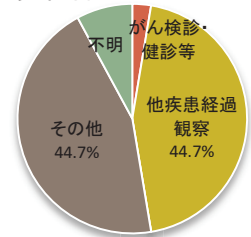


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



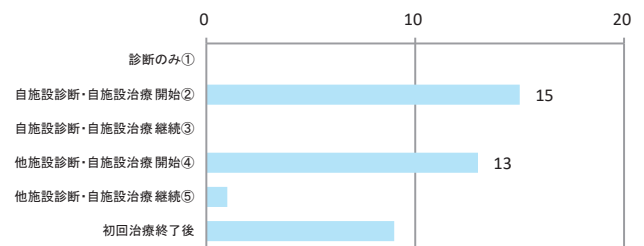
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	28
C221	肝内胆管	10

6. 症例区分



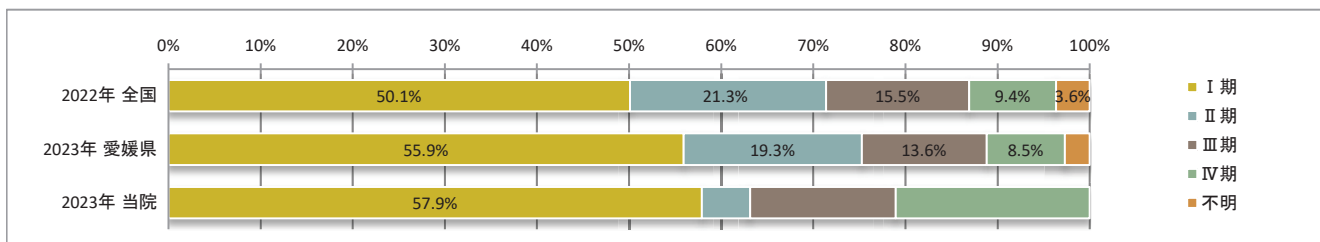
7. 病期分類対象の癌腫別登録数

局在コード	組織分類	登録数
C220	肝細胞癌	27
C221	肝内胆管癌	10

	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	29	76.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	15	39.5%

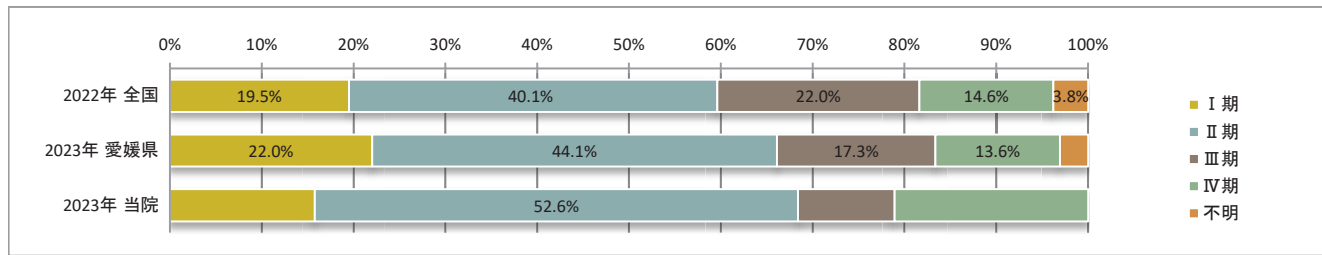
8. UICC TNM 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		11	(1~3)	(1~3)	(4~6)	0	19
割合		57.9%	--	--	--	--	



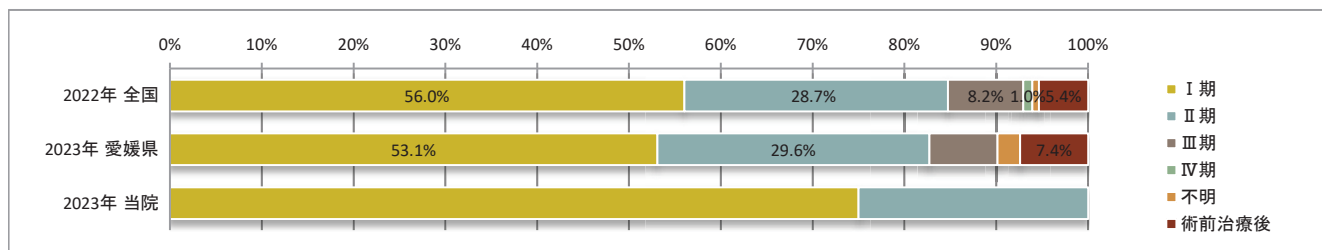
9. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(初回治療実施症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(1~3)	10	(1~3)	(4~6)	0	19
割合	--	52.6%	--	--	--	



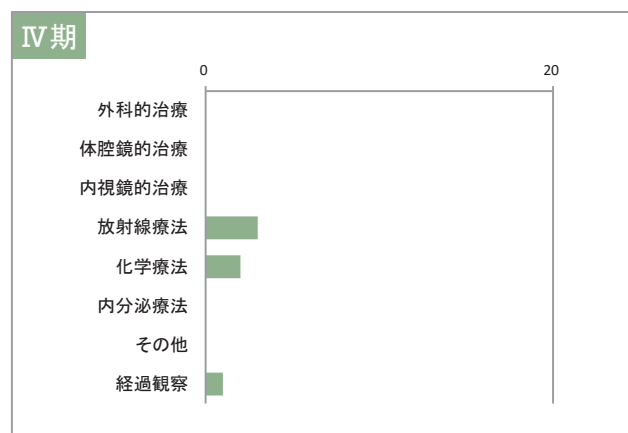
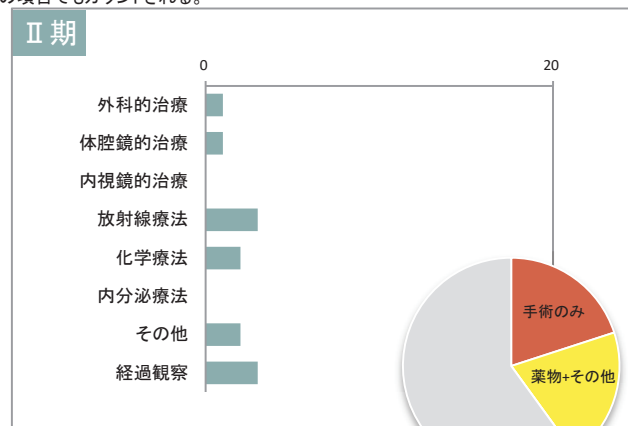
10. UICC TNM 肝細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	(1～3)	(1～3)	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--
	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計
件数	0	0	0	0	0	(4～6)
割合	--	--	--	--	--	



11. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

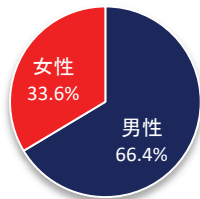
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-4. 部位別：肺

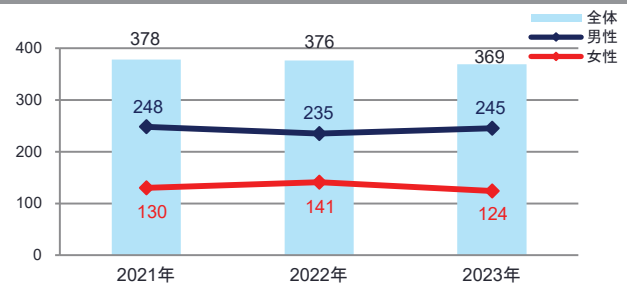
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	369
男性	245
女性	124

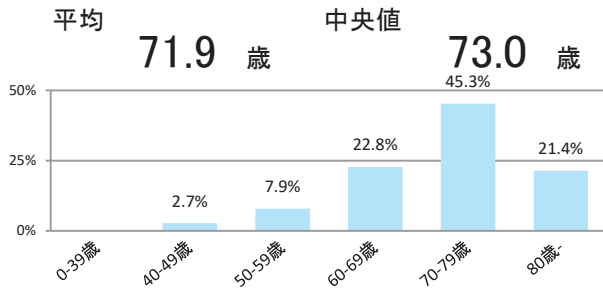


当院全登録数に占める肺がんの割合 **16.5%**

2. 登録数の年次推移

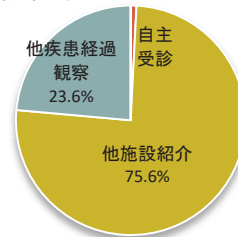


3. 年齢

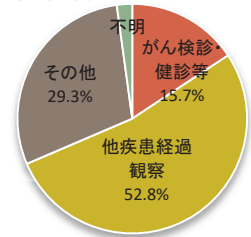


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

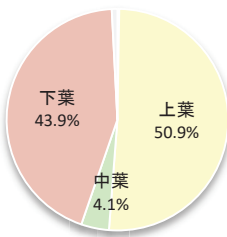


発見経緯

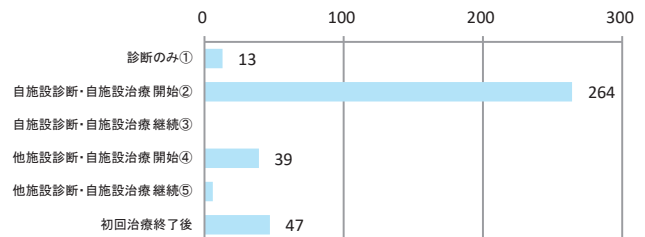


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	(1~3)
C341	上葉・肺尖部	188
C342	中葉	15
C343	下葉	162
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺NOS	(1~3)



6. 症例区分



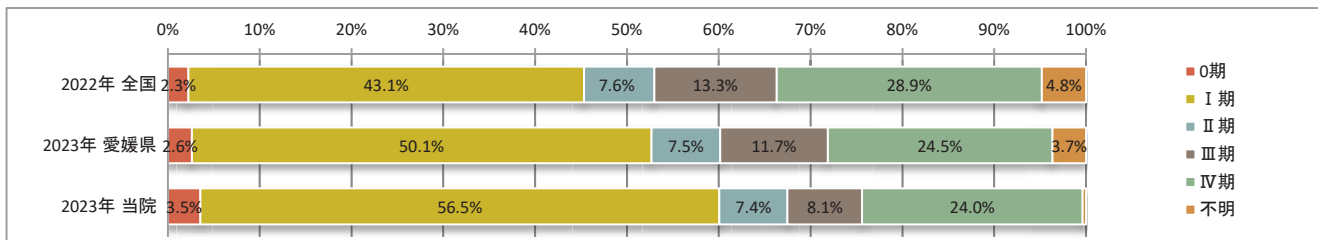
	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	309	83.7%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	277	75.1%

7. 病期分類対象の癌腫別登録数

組織分類	登録数
非小細胞癌	337
小細胞癌	30

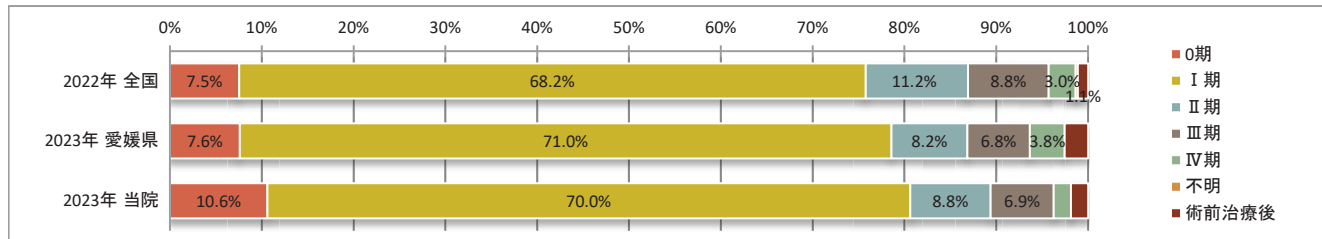
8. UICC TNM 非小細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	10	160	21	23	68	(1~3)	283
割合	3.5%	56.5%	7.4%	8.1%	24.0%	---	



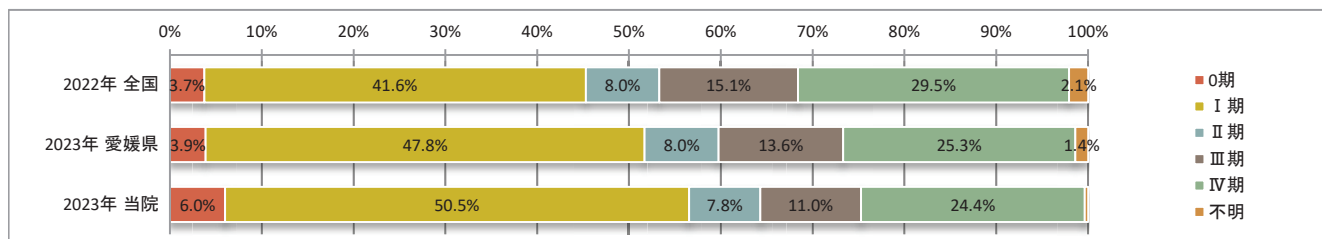
9. UICC TNM 非小細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	17	112	14	11	(1~3)	0	(1~3)
割合	10.6%	70.0%	8.8%	6.9%	---	---	---
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	0	0	0	160
割合	---	---	---	---	---	---	



10. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	17	143	22	31	69	(1～3)	283
割合	6.0%	50.5%	7.8%	11.0%	24.4%	—	



11. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

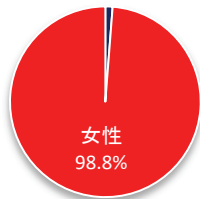
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-5. 部位別：乳房

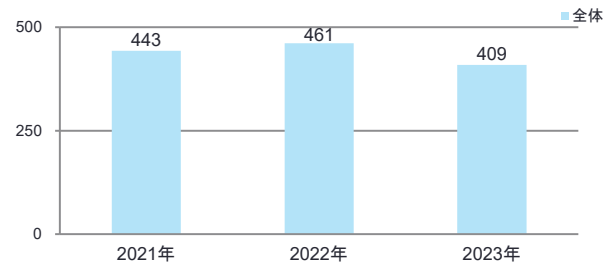
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	409
男性	(4～6)
女性	404

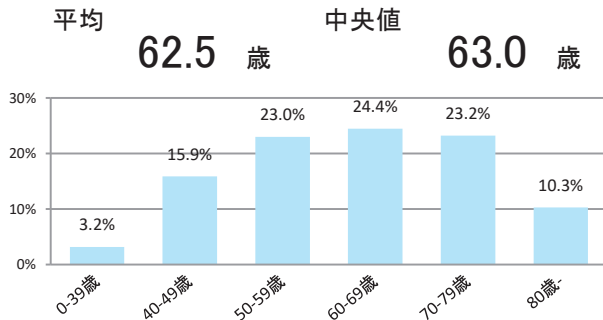


当院全登録数に占める乳がんの割合 **18.2%**

2. 登録数の年次推移

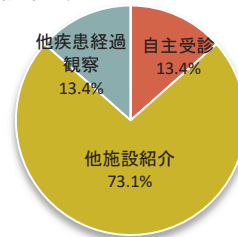


3. 年齢

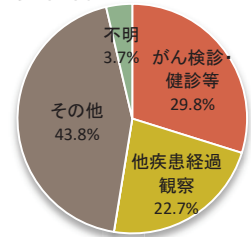


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

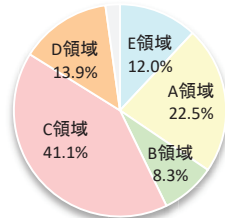


発見経緯

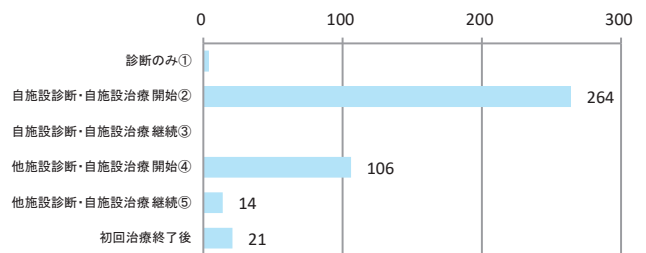


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	0
C501	E(乳輪部)領域	49
C502	A領域	92
C503	B領域	34
C504	C領域	168
C505	D領域	57
C506	C'領域	0
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS	(7～9)



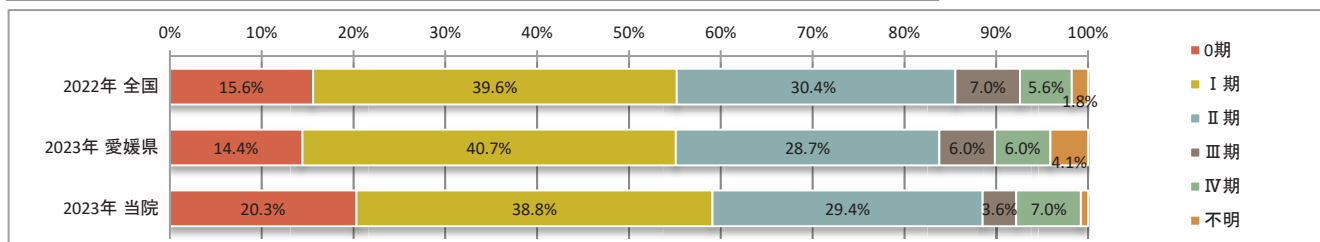
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	384	93.9%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	268	65.5%

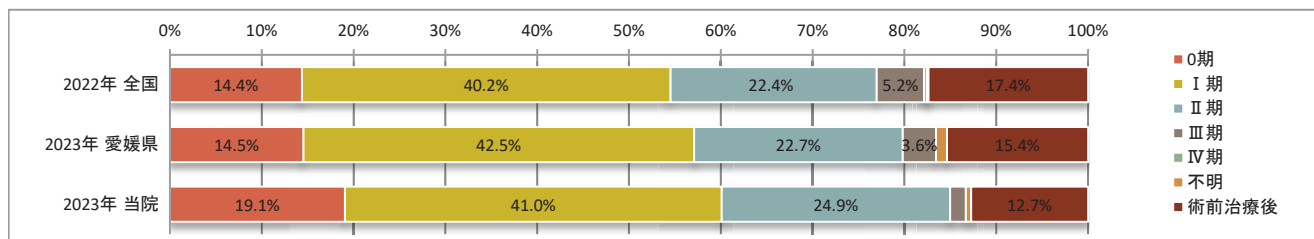
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	78	149	113	14	27	(1～3)	384
割合	20.3%	38.8%	29.4%	3.6%	7.0%	—	



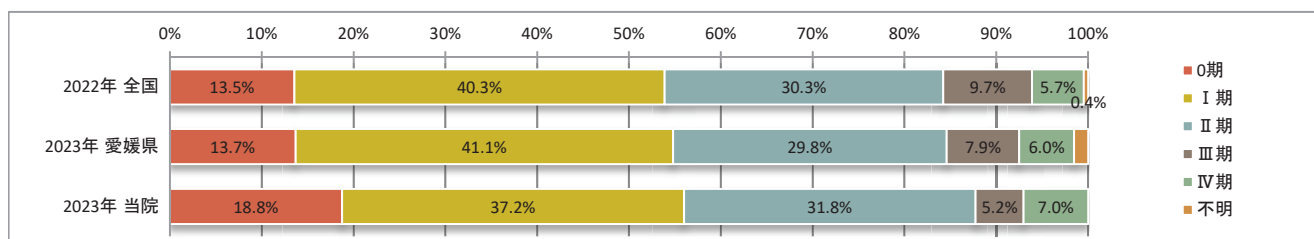
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	66	137	85	(4～6)	0	(1～3)	44
割合	19.1%	39.6%	24.6%	—	—	—	12.7%
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	(4～6)	(1～3)	(1～3)	0	0	346
割合	—	—	—	—	—	—	



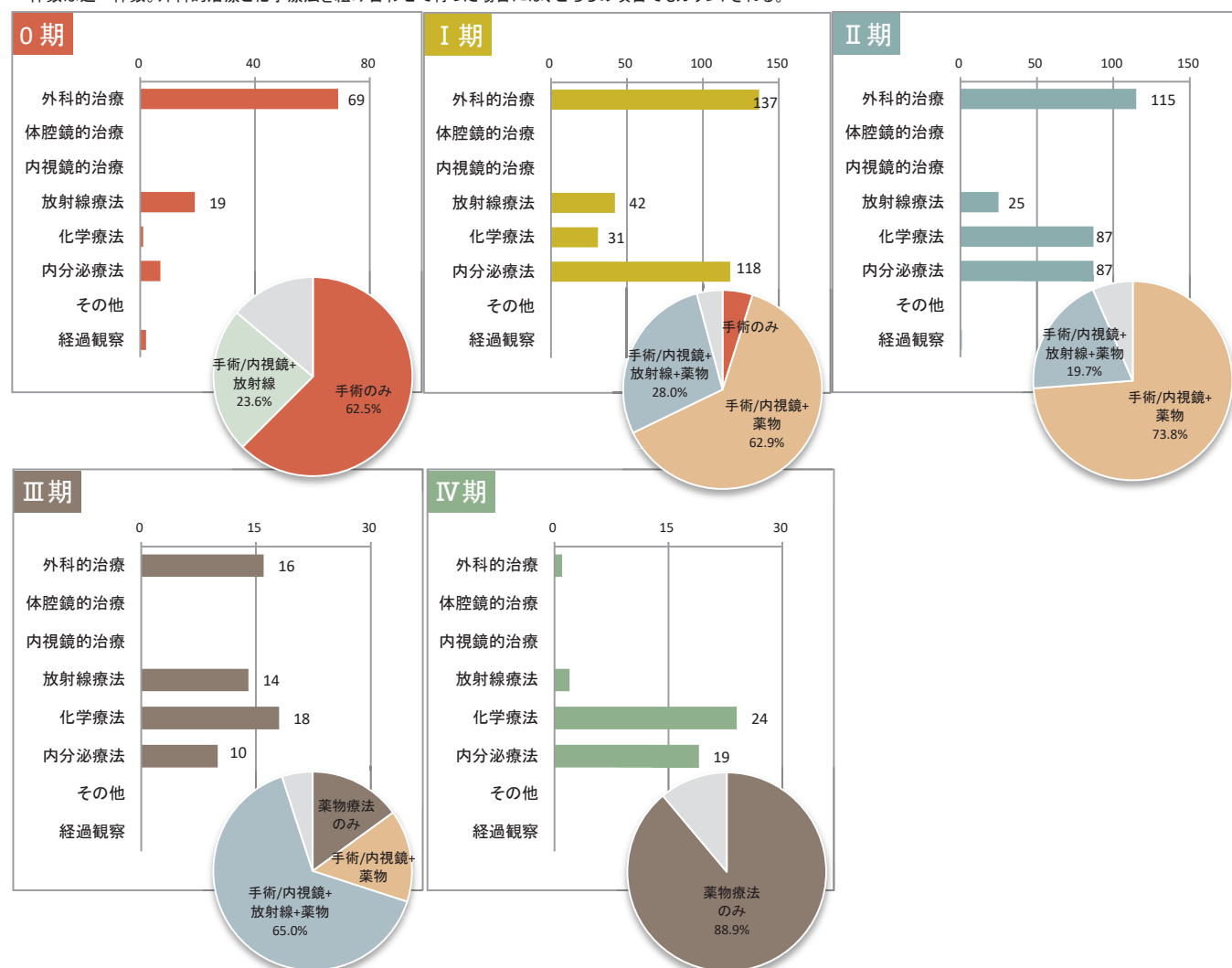
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	72	143	122	20	27	0	384
割合	18.8%	37.2%	31.8%	5.2%	7.0%	—	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



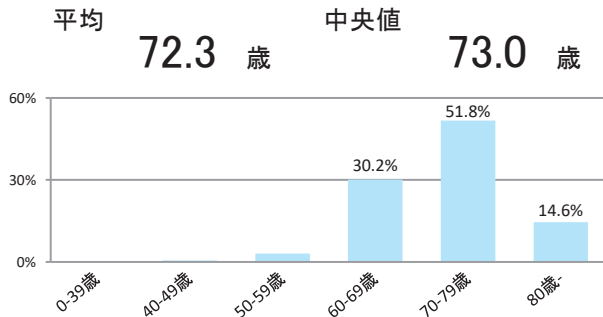
7-6. 部位別：前立腺

1. 登録数と男女割合

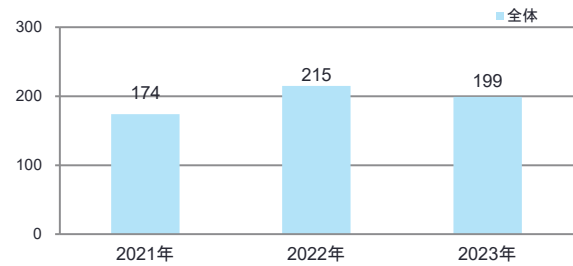
登録数	
全体	199

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 **8.9%**

3. 年齢

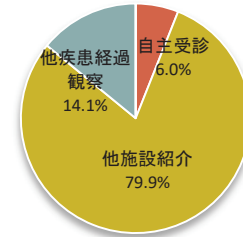


2. 登録数の年次推移

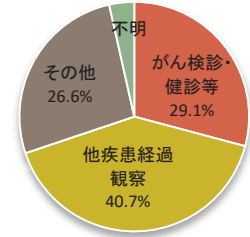


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



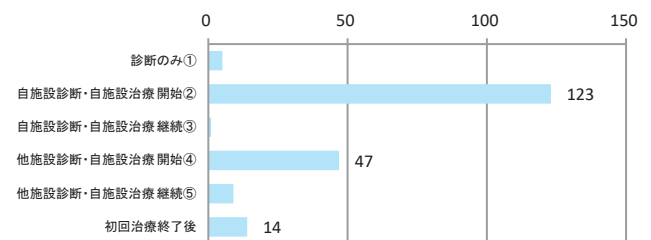
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C61.9	前立腺	199

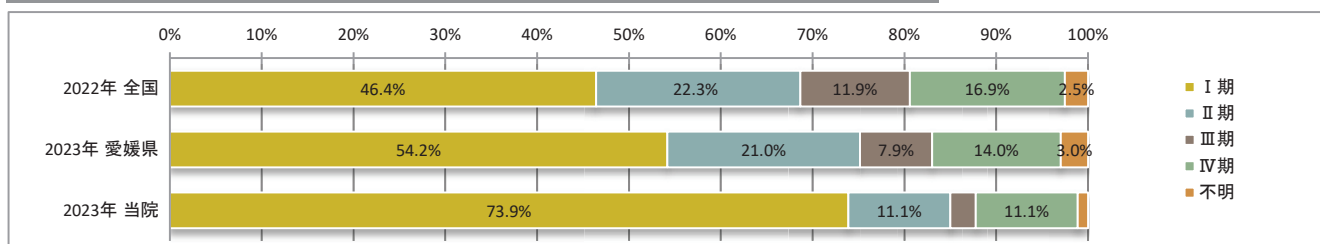
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	180	90.5%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	129	64.8%

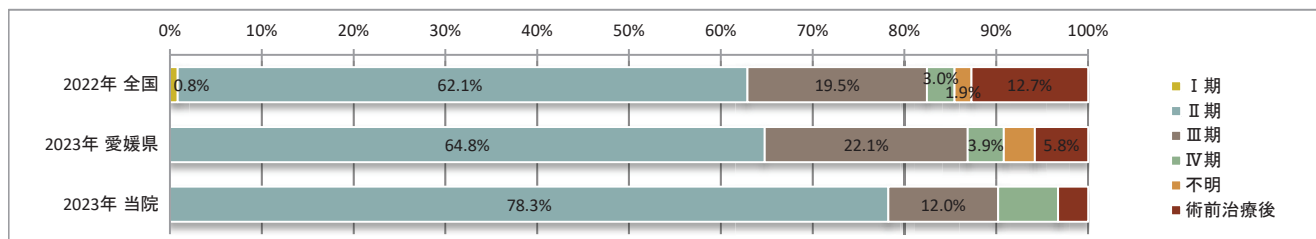
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	133	20	(4～6)	20	(1～3)	180
割合	73.9%	11.1%	--	11.1%	--	



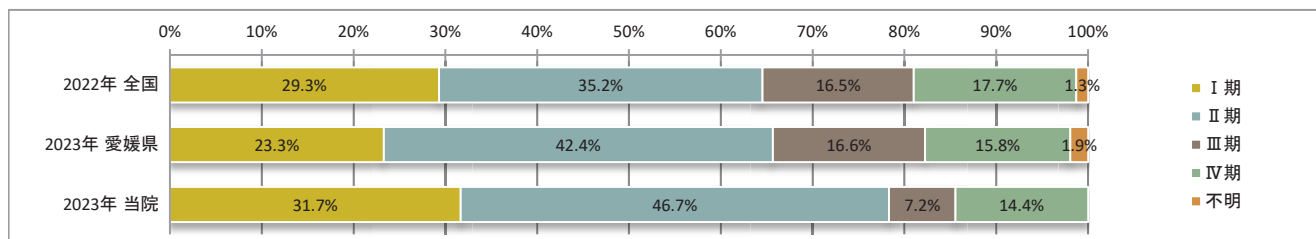
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	0	72	11	(4～6)	0	(1～3)
割合	--	78.3%	12.0%	--	--	--
	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計
件数	0	0	0	0	0	92
割合	--	--	--	--	--	



9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

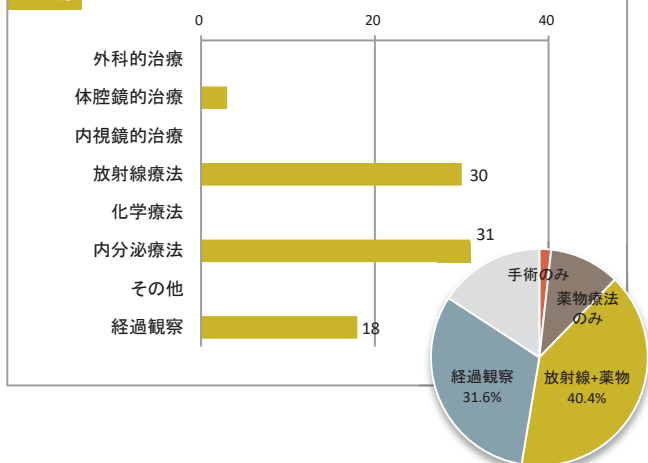
2023年	I 期	II 期	III期	IV期	不明	合計
件数	57	84	13	26	0	180
割合	31.7%	46.7%	7.2%	14.4%	—	



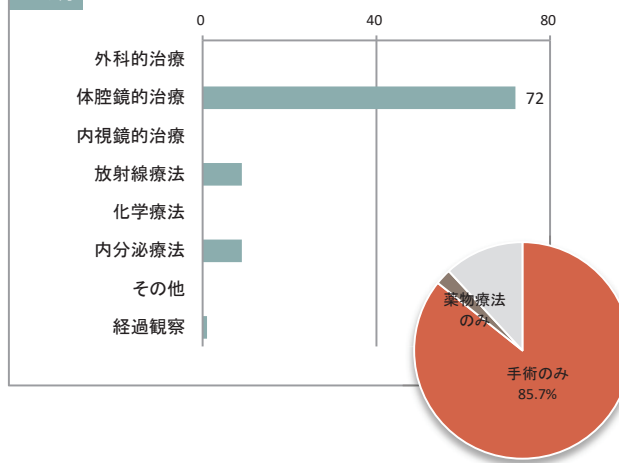
10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

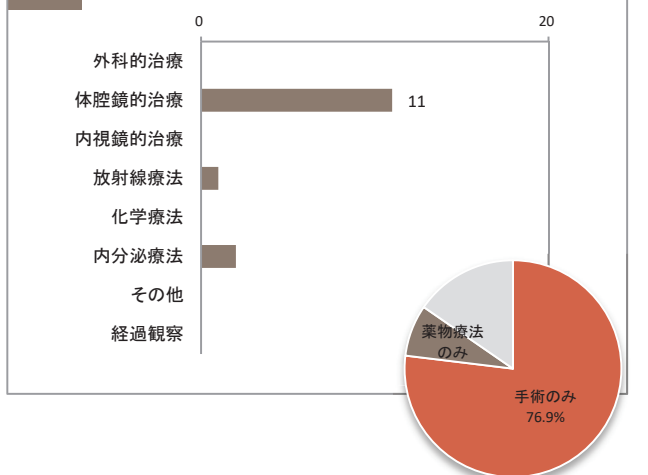
I 期



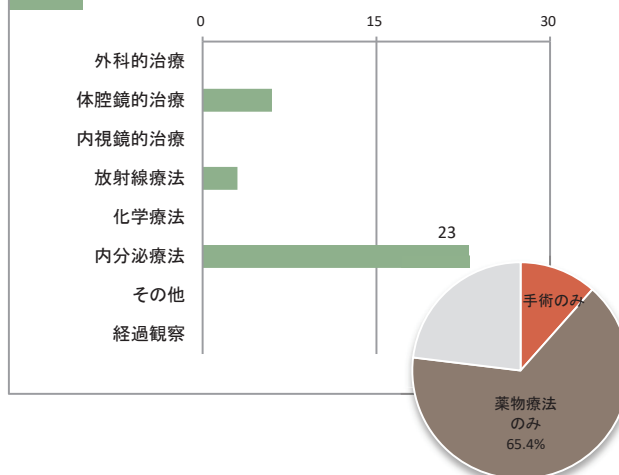
II 期



III 期



IV 期



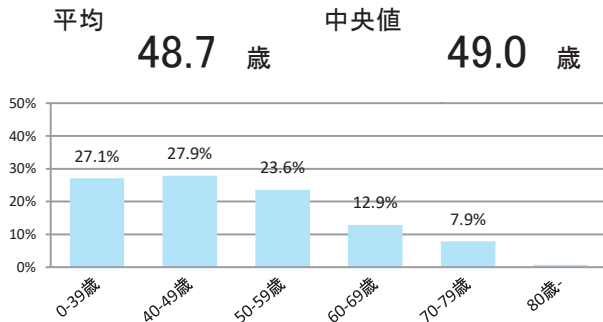
7-7. 部位別:子宮頸部

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	140

当院全登録数に占める子宮頸がんの割合 **6.2%**

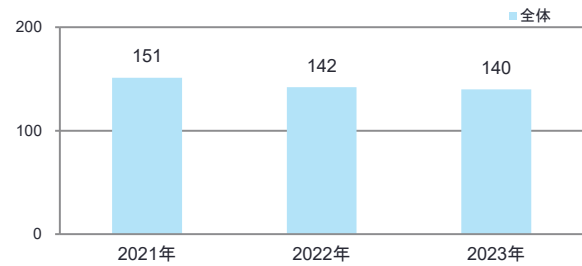
3. 年齢



5. 詳細部位別登録数

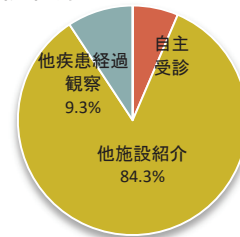
局在コード	部位名	登録数
C530	内頸部	0
C531	外頸部	0
C538	頸部境界部	0
C539	頸部詳細不明	140

2. 登録数の年次推移

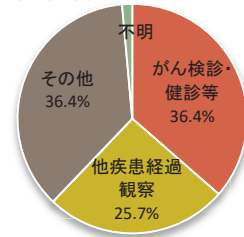


4. 来院経路と発見経緯

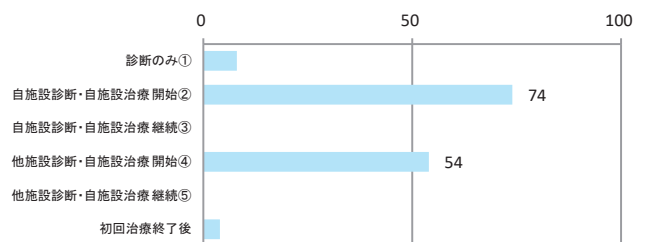
来院経路



発見経緯



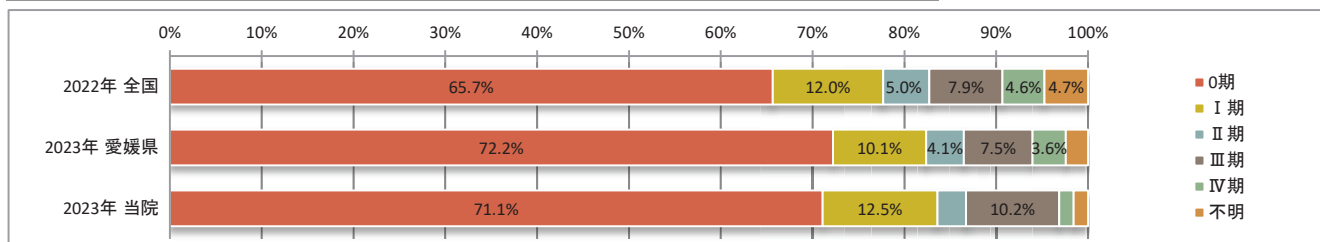
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	128	91.4%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	82	58.6%

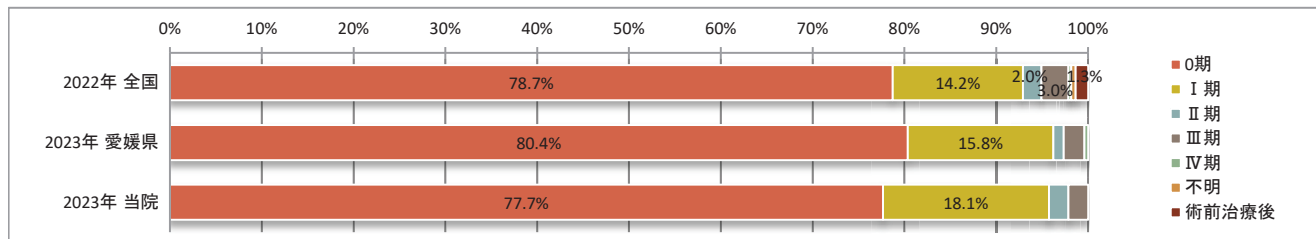
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	91	16	(4~6)	13	(1~3)	(1~3)	128
割合	71.1%	12.5%	--	10.2%	--	--	



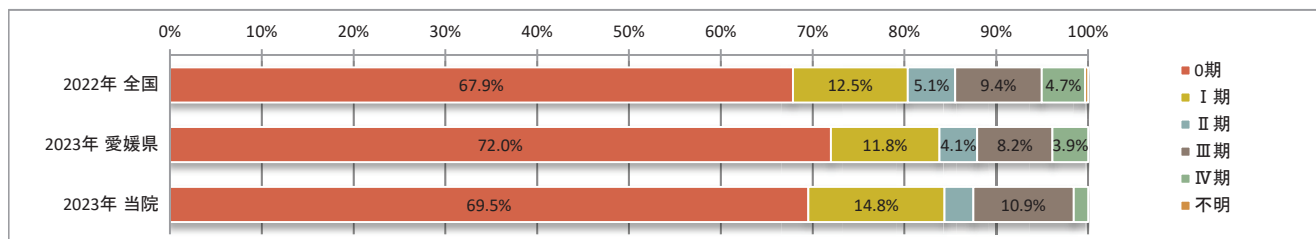
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	73	17	(1~3)	(1~3)	0	0	0
割合	77.7%	18.1%	--	--	--	--	--
							合計
件数	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	94
割合	0	0	0	0	0	0	



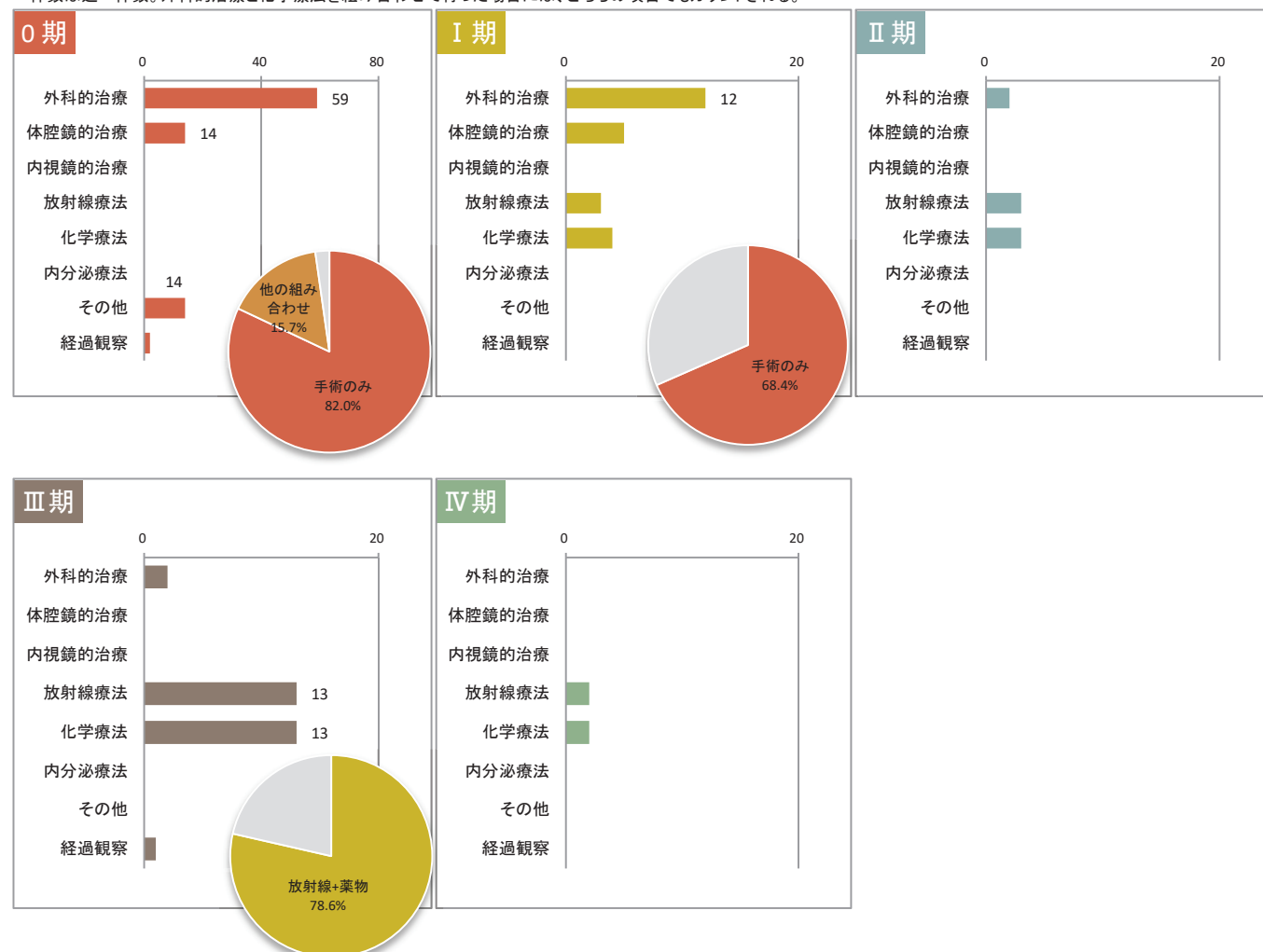
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	89	19	(4～6)	14	(1～3)	0	128
割合	69.5%	14.8%	--	10.9%	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



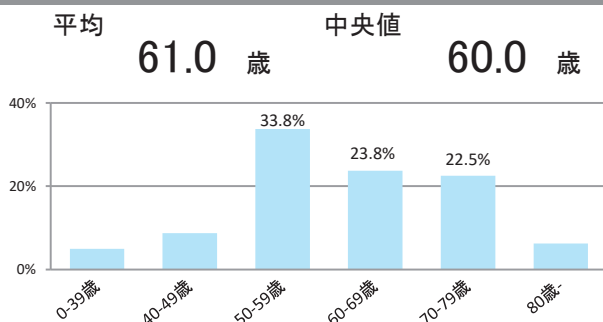
7-8. 部位別:子宮体部

1. 登録数と男女割合

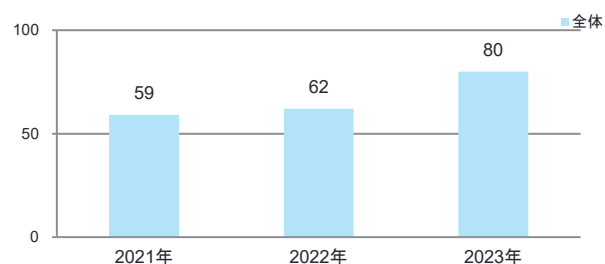
登録数	
全体	80

当院全登録数に占める子宮体がんの割合 **3.6%**

3. 年齢

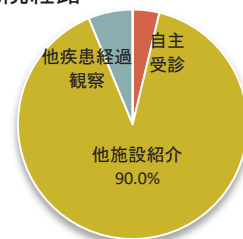


2. 登録数の年次推移

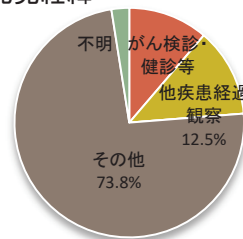


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



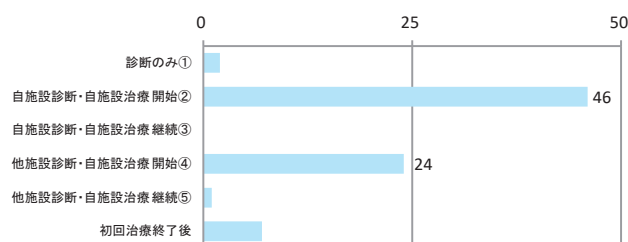
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C540	子宮峡部	0
C541	子宮内膜	(4~6)
C542	子宮筋層	0
C543	子宮底部	0
C548	体部境界部	0
C549	体部詳細不明	75

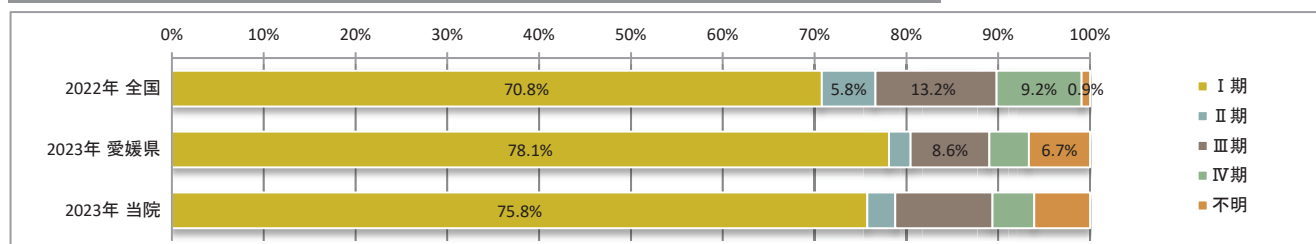
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	71	88.8%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	48	60.0%

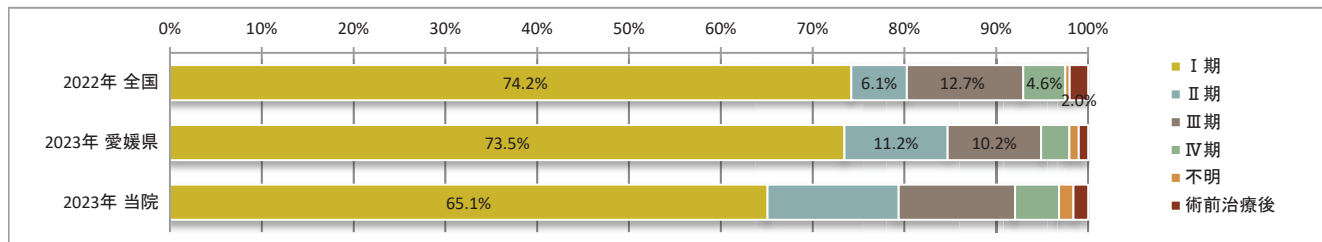
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	50	(1~3)	(7~9)	(1~3)	(4~6)	66
割合	75.8%	--	--	--	--	



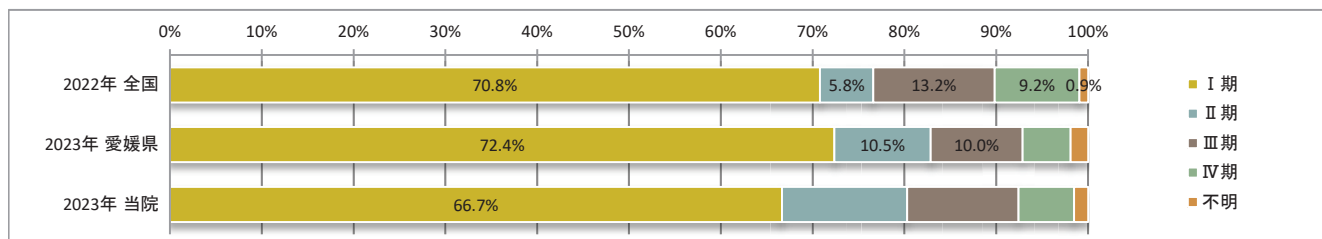
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	41	(7~9)	(7~9)	(1~3)	0	(1~3)
割合	65.1%	--	--	--	--	--
件数	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計
割合	0	0	0	0	(1~3)	63



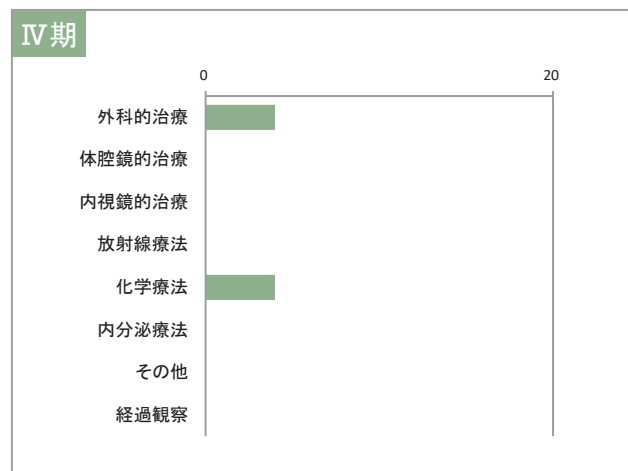
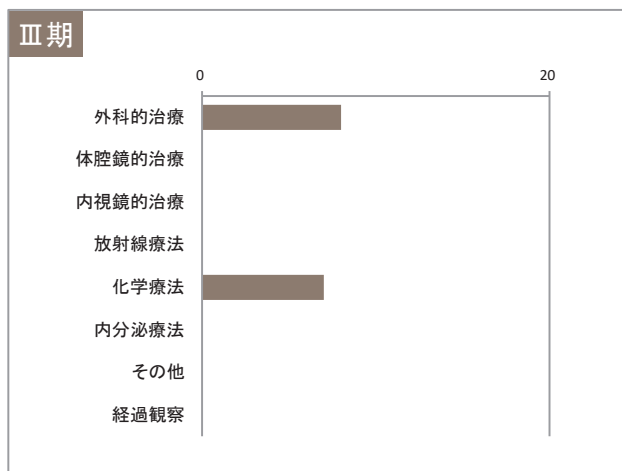
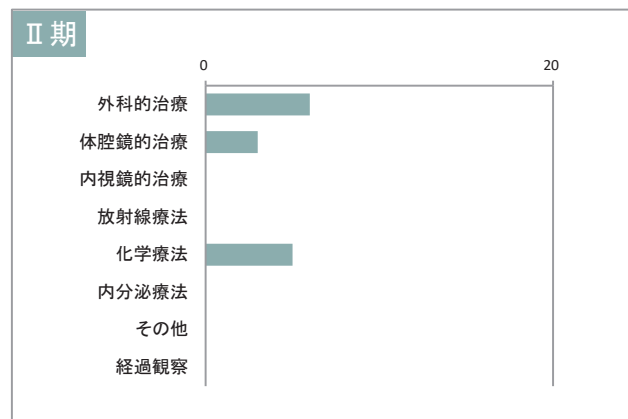
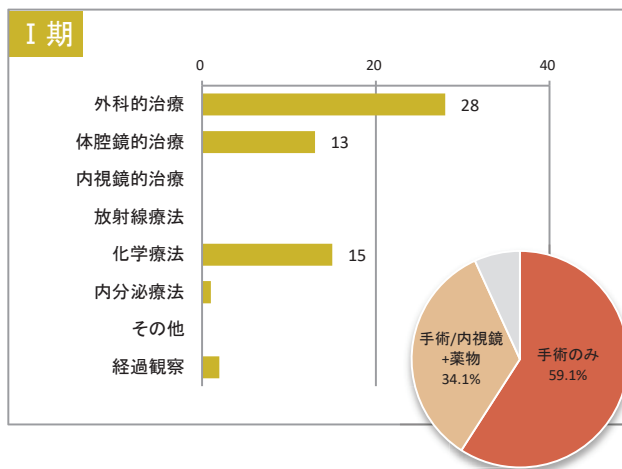
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	44	(7～9)	(7～9)	(4～6)	(1～3)	66
割合	66.7%	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

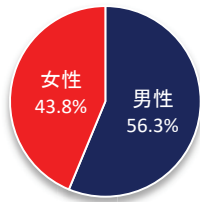
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-9. 部位別:血液腫瘍

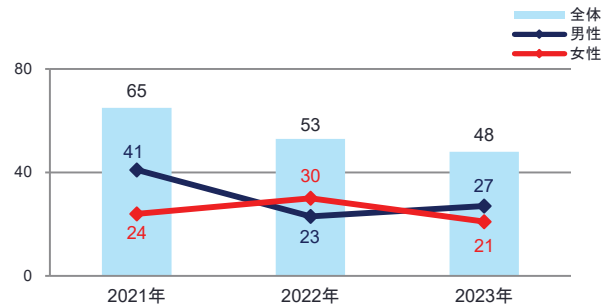
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	48
男性	27
女性	21

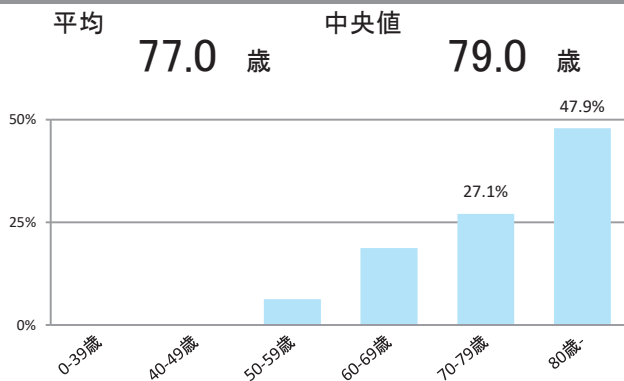


当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 **2.1%**

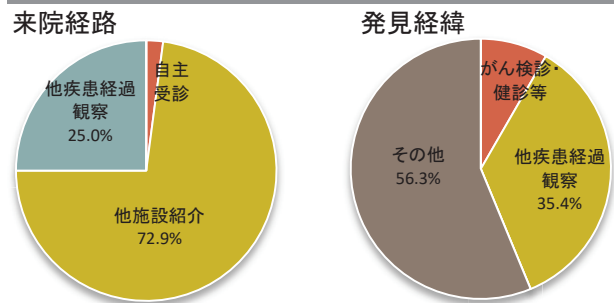
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

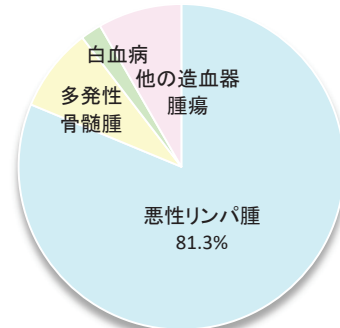


4. 来院経路と発見経緯



5. 分類別登録数

	2021年	2022年	2023年
悪性リンパ腫	48	37	39
多発性骨髄腫	(4~6)	10	(4~6)
白血病	(7~9)	(4~6)	(1~3)
他の造血器腫瘍	(4~6)	(1~3)	(4~6)

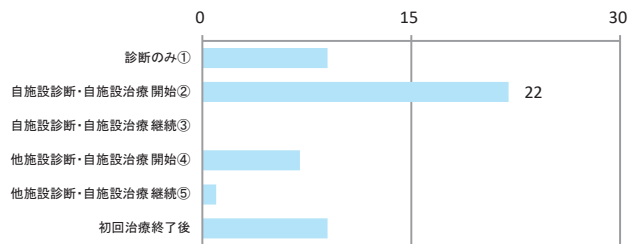


2023年分類別登録の割合

6. 詳細組織形態別登録数(WHO2017)

WHO2017に基づく分類		2021年	2022年	2023年
骨髄系腫瘍	骨髄増殖性疾患、肥満細胞症	(1~3)	(1~3)	(1~3)
	骨髄異形成・骨髄増殖性腫瘍・骨髄異形成症候群	(4~6)	(1~3)	(1~3)
	急性骨髄性白血病及び関連前駆細胞腫瘍	(4~6)	(1~3)	0
	分化系統不明瞭な急性白血病	0	0	0
	その他骨髄系腫瘍	0	0	(1~3)
リンパ系腫瘍	前駆型リンパ球系腫瘍	0	(1~3)	0
	成熟B細胞腫瘍	41	32	29
	形質細胞腫瘍	(4~6)	(7~9)	(4~6)
	成熟T細胞およびNK細胞腫瘍	(4~6)	(1~3)	(1~3)
	ホジキンリンパ腫	(1~3)	(1~3)	(4~6)
	その他リンパ系腫瘍	(1~3)	(1~3)	(1~3)
組織球及び樹状細胞腫瘍		0	0	0
その他(上記で分類できないもの)		(1~3)	0	0

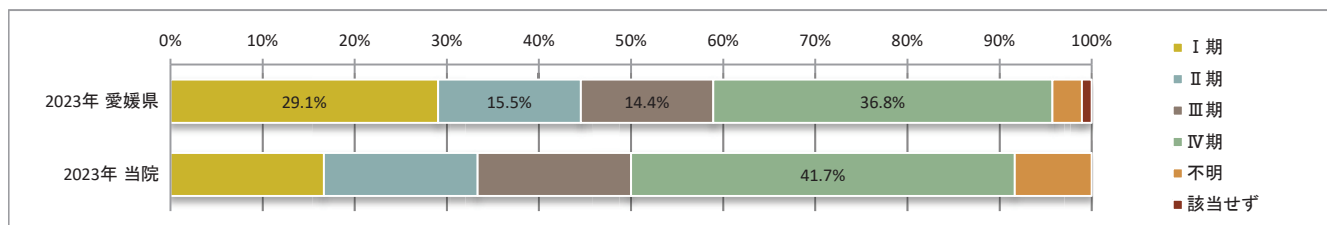
7. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	30	62.5%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	31	64.6%

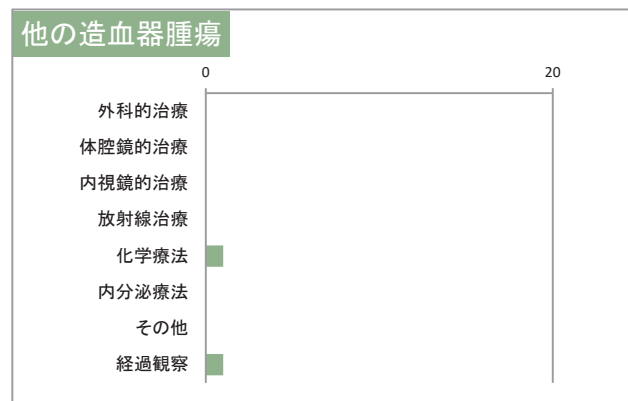
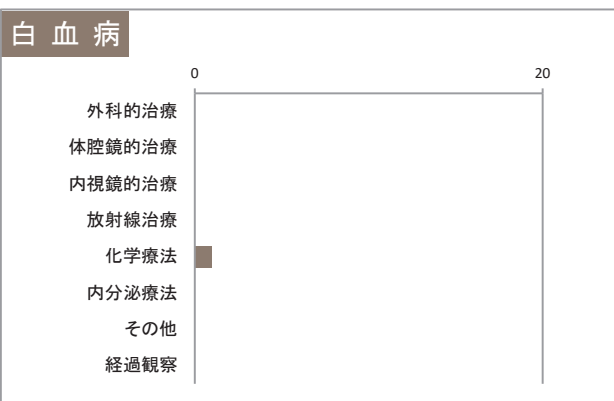
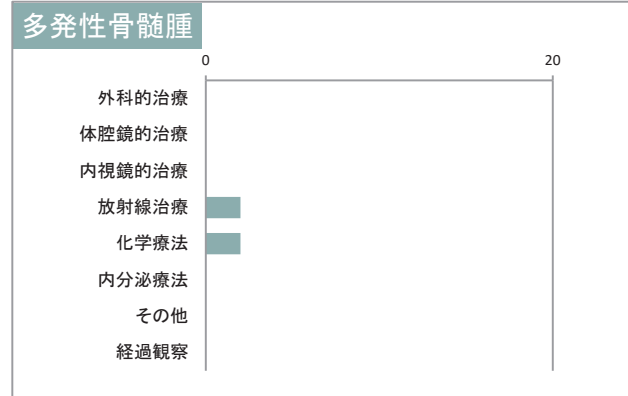
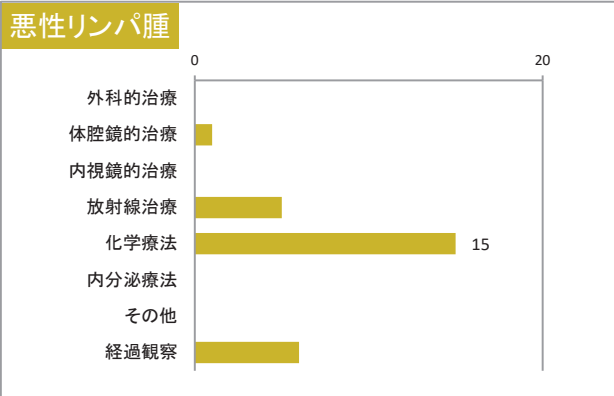
8. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、悪性リンパ腫のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数	(4～6)	(4～6)	(4～6)	10	(1～3)	0	24
割合	--	--	--	41.7%	--	--	



9. 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



説明ポイントの解説

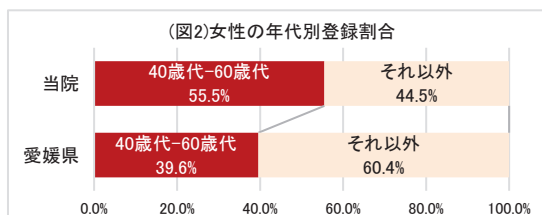
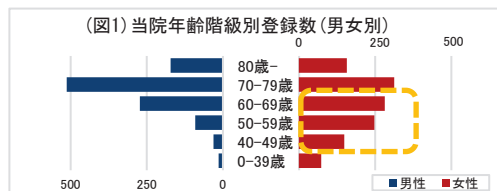
施設別集計まとめ

当院は四国地方の「がん」に関する中心的施設として、診療・研究・教育・情報発信を4本柱とするがん専門病院である。

症例は女性特有の疾患が多く、部位別登録数は毎年「乳房」が最多で、上位5部位内に「子宮」が入ることが特徴である。登録数の男女比でも女性の比率の方が高い。また、平均年齢が66.9歳で、愛媛県の70.5歳と比較して若年が多く、特に40歳代から60歳代の女性の占有率が高い(図1.2)。

2023年症例は、登録総数は前年と比較して減少したが、過去5年平均と概ね変わらない。

また、症例区分「初回治療終了後」の受診数も増加傾向で、その背景にはがんゲノム外来の受診数の増加などがある。2020年にゲノム外来発足後受診数は年々増加(109件→114件→134件)している。「がんゲノム拠点病院」である当院の役割の重要性を反映している。



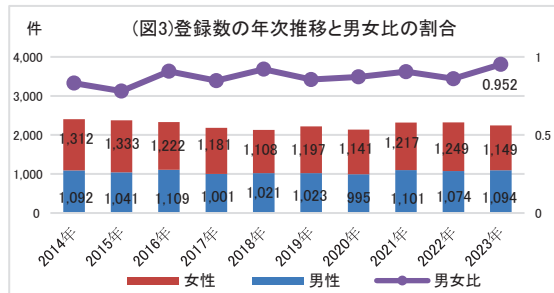
説明ポイント①

登録数は前年より80件減少し、男女比に変動があった。

2023年の登録数(症例区分80を除く)は前年より80件減少しコロナ禍の影響を受ける前(2020年以前)とほぼ同等の件数とな

った。

男女別では、前年より男性が20件(2.6%)増加し、女性が100件(2.6%)減少した。当院は女性特有の疾患である部位の登録数が多く、男女比は1未満で推移している。(図3)



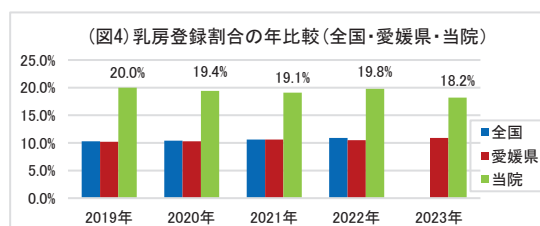
※男女比は女性を1としたときの男性の比率

説明ポイント②

部位別登録数では乳房が最多で、全国・愛媛県の登録割合より高い。

部位別登録数では全部位の中で「乳房」が最多である。

図4をみると2023年は前年より減少したが(登録割合:1.6%、登録数:52件)、全国・愛媛県より高い割合が続いている。「乳房」は長年にわたり当院を代表する部位である。「乳房」の初回治療は手術件数も多いが、薬物療法の件数が多いのも当院の特徴である。当院は標準治療だけでなく、2次治療・再発治療も安心して受けられる体制が整っており、また臨床試験や新薬の治験も積極的に取り組んでいる。



※2023年全国集計は現在未公表

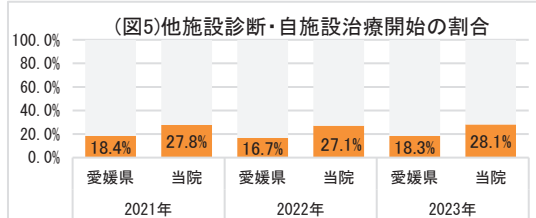
説明ポイント③

症例区分の「他施設診断・自施設治療開始」が全国・愛媛県より割合が高い。

「他施設診断・自施設治療開始」は全国(18.8%)・愛媛県(18.3%)と比べて当院の割合(28.1%)は高い。登録数はわずかに減少し

たが、割合は増加した。(図5)

どの施設で診断を受けたかに関係なく、当院を治療施設として選択される方が多いことから、がんに特化した検査や治療を提供できるがん専門病院として多くの方に認知されていることがわかる。

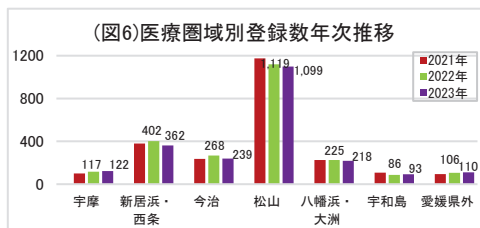


説明ポイント④

医療圏域別登録数は、松山圏域以外が半数以上を占めている。

当院は都道府県がん診療連携拠点病院として愛媛県全域を担当医療圏としている。所在は松山圏域であるが、松山圏域以外の登録数が半数以上(51.0%)を占めているのが当院の特徴の1つである。2023年は登録数全体が減少したが、松山圏域と松山圏域以外の割合は例年どおりであった。

図6の年次推移をみると、前年より松山圏域(20件減)、今治圏域(29件減)、新居浜・西条圏域(40件減)、八幡浜・大洲圏域(7件減)が減少した。



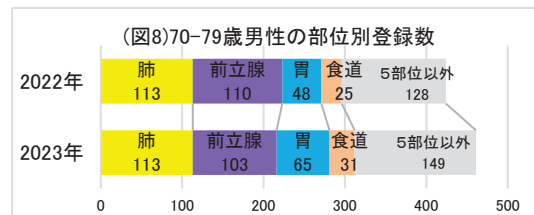
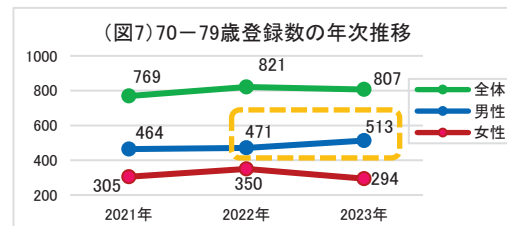
説明ポイント⑤

年齢階級別登録数の年次推移では、70歳代の男性が増加した。

男女別登録数の年次推移では、70-79歳の変動が大きく、男性は42件増加・女性は56件減少した。変動の特徴としては、図7のように男性は2022年まで緩やかに増加し

2023年大きく増加した。女性は2022年大きく増加し、2023年は増加前と概ね変わらない件数となった。

この年代の男性を部位別でみると、上位を占める部位は変わらないが、登録数は胃が17件・食道が6件前年より増加した(図8)。「胃・食道」は、70-79歳の男性の割合が高い。当院は高齢者や合併症がある方にも安心して治療を受けていただけるように「併存疾患センター」が整備されており、登録数増加の一因として考えられる。



説明ポイント⑥

発見経緯の「がん検診・健診等」の割合が高く、前年より大腸の件数が増加した。

当院は全国(15.0%)・愛媛県(12.4%)に比べて「がん検診・健診等」の割合が高い(19.3%)。検診が重要ながん種の登録数が多い当院の特徴が表れている。中でも、特に「大腸」が前年より12件(4.8%)増加した。図9をみると「がん検診・健診等」は病期が0期~I期の早期発見が多く、当院は特にI期の登録数が多い。

